

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館地方精神保健協会補助金
----------------	---------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	当該団体は、地域における精神保健に関する理解を深め、その知識の普及、啓蒙活動等を推進し、精神障がい者の医療保護と社会復帰の促進を図るとともに、精神障がいの発生予防に努め、地域住民の精神的健康の保持向上を図っている。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	当該団体は、心の健康づくり等を図るための諸活動を行い、行政と協力して精神保健思想の普及啓発にあたっており、広く精神保健対策の推進を図っている。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	広く新規会員を募ったり、機関誌は広告料を利用して発行したりする等、自主自立に向け取り組んでいる。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	精神保健に関する理解の普及啓発に努める公益的な団体への支援として、補助が適正である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input checked="" type="checkbox"/>	継続して安定した運営を行うための必要最低限の補助金額であることから、前年踏襲となっているが、運営状況の確認や指導に努めていきたい。
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	明確な基準を設けにくい事業であることから、現在のところ基準はない。今後、基準策定について検討していきたい。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館地方精神保健協会補助金
----------------	---------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
講演会の開催 (春季・秋季2回開催) 精神保健ボランティア養成講座の開催 教育・福祉合同作品展の共催 機関誌・事務局ニュースの発行
(達成状況)
第55回精神保健北海道大会：504人来場 精神保健ボランティア養成講座の開催：延122人参加 教育・福祉合同作品展の開催：4,342人来場 機関誌「あすをきずく」の発行：350部発行 様々な活動を通じ、地域における精神保健に関する理解が深まり、精神障がい者の社会復帰の促進につながっている。

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容) 補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。 (見直しの時期) 平成27年度
(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容)

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
平成27年度		平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市医師会看護専門学校運営費補助金	開 始 年 度	昭和49年度
----------------	--------------------	------------	--------

団 体 名	公益社団法人 函館市医師会
-------	---------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	(准) 看護師の養成に係る経費補助
目 的	(目 的) 市内の医療機関等に対する看護職員の安定的供給 道南地域の高校卒業生の進路である、当該地域における唯一の准看護師養成校の運営維持
・ 効果	(効 果) 平成24年度実績 卒業生(准看護師・看護師)のうち、 就職者67名中 市内の医療機関に就職 61名(91.0%) 市内居住者で近郊の医療機関に就職 2名(3.0%) 進学者49名中 同校准看護学科から同校看護学科への進学 34名(69.4%) 上記のとおり、市内の医療資源の産出や人口の流出の抑制という点において高く貢献している。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	その他	計
		市	その他					
収    入	21	5,000	32,584		158,240		2,317	198,141
	22	5,000	33,548		170,337		15,679	224,564
	23	5,000	34,900		173,964		3,224	217,088
	24	4,500	35,011		173,844		3,585	216,940
	25	4,500	32,857		172,512		2,130	211,999
支    出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21	125,379	21,055	51,707				198,141
	22	131,980	24,206	68,378				224,564
	23	122,295	24,619	70,174				217,088
	24	126,221	26,556	64,163				216,940
25	127,904	25,600	58,495				211,999	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市医師会看護専門学校運営費補助金
----------------	--------------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	当該補助金は、道南地区における唯一の准看護師養成学科を有する看護師養成校に対する運営補助であり、同校の卒業生の多くが、市内医療機関に勤務する等、市内の雇用の創出および市民に対する適正な医療水準の提供に貢献している。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	道南地域で准看護師の養成校は、唯一、同校だけであり、道南地域の高校生の進路の一つとして重要な役割を果たしており、同校の運営に支障が生じた場合、札幌等への医療資源の流出が懸念される。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	H24年度に、自立化に向け、事務費等運営経費の見直しを図り、50万円補助金額を減額している。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	「学校運営費」という性質を考えた場合、委託や負担金ではなく、補助によることが適切である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	明確な基準を設けにくい事業であるため、現在のところ、基準は定めていないが、基本的視点の「自主性」の方針に則り、学生の在籍数の動向を注視し、今後も随時、医師会と協議を続けていく。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	自主財源である会費が年々減少していることから、学生の確保について努力するよう指導する。
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

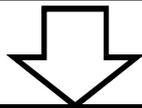
# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市医師会看護専門学校運営費補助金
----------------	--------------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)		
市内の医療機関への就職状況		
(達成状況)		
同校卒業生の動向 (H24年度実績)		
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">                     准看護学科                      ①就職者: 27名中23名が市内就職 (85.2%)                      ②進学者: 49名中34名が同校看護学科に進学 (69.4%)                 </td> <td style="width: 50%; border: none;">                     看護学科                      就職者40名中                      38名が市内就職 (95.0%)                      2名が市内近郊の医療機関に就職 (5.0%)                 </td> </tr> </table>	准看護学科 ①就職者: 27名中23名が市内就職 (85.2%) ②進学者: 49名中34名が同校看護学科に進学 (69.4%)	看護学科 就職者40名中 38名が市内就職 (95.0%) 2名が市内近郊の医療機関に就職 (5.0%)
准看護学科 ①就職者: 27名中23名が市内就職 (85.2%) ②進学者: 49名中34名が同校看護学科に進学 (69.4%)	看護学科 就職者40名中 38名が市内就職 (95.0%) 2名が市内近郊の医療機関に就職 (5.0%)	

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容) 平成24年度に見直しをした補助金であるが, 補助金交付先団体の収支状況を再確認し, 補助金の縮減に努めるとともに, 積算基準額を明確にする。 (見直しの時期) 平成27年度
(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容)

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
平成27年度		平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館認知症の人を支える会運営費補助金	開 始 年 度	平成5年度
----------------	--------------------	------------	-------

団 体 名	函館認知症の人を支える会
-------	--------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	認知症の人を介護している家族などの交流を通じて認知症への理解を深め、認知症の人とその介護家族などへの支援と福祉向上および高齢者の人権の向上を図る。
目 的	(目 的) 認知症高齢者を抱える介護者に対する援護の一環として、当該団体に助成することにより、要援護高齢者とその家族の生活の質の向上を図ることを目的とする。
・ 効 果	(効 果) 住民参加型民間団体を育成することにより、在宅介護の重要性等、市民への福祉意識の啓発と理解が深められ、認知症高齢者を支える家族の交流を通して、協力体制の強化・充実など地域福祉の推進が図られる。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		寄付金	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収     入	21	100	295	82	420	3	115	1,015
	22	100	270	29	400	5	128	932
	23	100	331	39	433	3	48	954
	24	100	374	20	370	3	29	896
	25	100	350	20	415	4	21	910
支     出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑費		計
	21	0	559	329	110	12		1,010
	22	0	518	292	115	4		929
	23	0	546	289	103	13		951
	24	0	475	305	103	9		892
	25	0	480	320	103	7		910

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館認知症の人を支える会運営費補助金
----------------	--------------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	当該団体は、認知症の人やその家族などの交流を通じて認知症への理解を深めるとともに、本人や家族への相談を行うことにより生活の質の向上を図るものであるが、こうした活動により、地域社会に対し認知症についての正しい知識の普及啓発となるほか、地域福祉の推進に大きく貢献するものである。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	高齢化が進展している社会において、認知症高齢者の増加が見込まれることに加え、家族が互いに交流を深めることのできる住民参加型団体が他にない。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	会費収入のほかバザーなど収益事業を実施している。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	認知症の普及啓発や介護相談など、市民の多様なニーズにあわせた活動が求められており、予算執行についても柔軟な対応が必要とされる。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	団体の収支や運営状況を勘案し補助金を算定しているが、明確な基準を設けにくい事業であることから、現在のところ基準はない。今後策定について検討していきたい。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

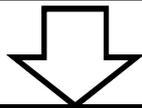
# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館認知症の人を支える会運営費補助金
----------------	--------------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に「家族の集い」を開催するほか会報を発行する。</li> <li>・毎週木曜日に電話相談を行う。</li> <li>・施設見学および施設ボランティアを行う。</li> <li>・各種研修会, 講演会等に参加する。</li> <li>・市事業「家族のための認知症介護講座」を受託し実施する。</li> </ul>
(達成状況)
平成24年度実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「家族の集い」10回開催, 会報10回発行</li> <li>・電話相談 49回</li> <li>・施設見学 2カ所, 施設ボランティア 24回</li> <li>・各種研修会, 講演会等参加 4回</li> <li>・「家族のための認知症介護講座」6回開催</li> </ul>

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	会員相互の連携強化や, 認知症の人とその家族などの支援を行うことにより, 地域社会における認知症高齢者の理解が深まるほか, 介護家族の孤立化を防止するなど, 地域福祉の発展に貢献した。

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容) 補助金交付先団体の収支状況を再確認し, 補助金の縮減に努めるとともに, 積算基準額を明確にする。 (見直しの時期) 平成27年度
(廃止の理由)  (廃止の時期)	(その他の内容)

## ○終期の設定

終期設定 平成27年度	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定) 平成27年度
----------------	---	------------------------

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	北海道難病連補助金	開 始 年 度	昭和53年度
----------------	-----------	------------	--------

団 体 名	財団法人 北海道難病連
-------	-------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	(財)北海道難病連の活動は、市民への難病問題の啓発や患者の福祉の増進に寄与しており、本市の保健衛生行政に資するところが大きいことから毎年度300,000円の交付要望に応じ同額を交付している。
目 的	(目 的) 特定疾患を含む難病患者とその家族が、療養生活に有益な情報を得ることによって病苦の軽減を図り、また、同病者との連携により、精神的安寧が得られることを目的とする。
・ 効 果	(効 果) 難病患者の社会自立を推進するために難病患者の各団体が医療、福祉および生活全般についての相談に応じたり、医療について研修会を開催するなどのほか、広く市民に対し難病問題の啓発を行うことで、病気についての正しい知識の普及が図られ、難病患者とその家族の福祉増進に寄与することができる。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金		計
		市	その他					
収    入	21	300	22,443	51,076	8,441	102		82,362
	22	300	24,819	57,326	8,103	86		90,634
	23	300	19,256	44,946	7,884	71		72,457
	24	300	19,250	33,202	7,588	5		60,345
	25	300	19,420	37,511	7,855	0		65,086
支    出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑費	予備費	計
	21	19,277	5,470	49,388	0	8,138		82,273
	22	16,638	6,057	46,140	0	21,728		90,563
	23	12,515	5,342	45,059	0	9,537		72,453
	24	6,063	5,399	41,206	0	7,672		60,340
25	4,835	4,860	48,367	0	6,677	347	65,086	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	北海道難病連補助金
----------------	-----------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	広く市民に対し、難病についての正しい知識の普及啓発を行うことにより、難病患者とその家族の福祉の向上を図ることができる。患者家族の交流や機関誌の発行に対する要望も強く寄せられている。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	財政基盤の弱い患者・家族団体であり、資金造成活動に努力しているものの十分な確保ができない現状である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	理事会や支部協議会等を通じて、運営や事業内容の検討などを行い、難病患者支援のための事業を自主的に行っている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	患者会の活動は、難病患者や家族の交流や連携によって、精神的な安寧が得られるなどの効果があることから、他の手法ではなく補助することが施策目的の実現に最適と考える。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input checked="" type="checkbox"/>	道内各都市とも人口規模に応じて交付要望を受けており、函館市は昭和53年から、継続して要望額と同額の30万円を交付しているが、今後は積算基準の提示を求めている。
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	道内各都市とも人口規模に応じて交付要望を受けており、函館市は昭和53年から、継続して要望額と同額の30万円を交付しているが、今後は積算基準の提示を求めている。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	北海道難病連補助金
----------------	-----------

## ○補助効果の検証

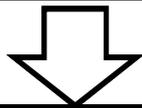
(効果測定方法、具体的な数値等)

難病患者の社会自立を推進するために難病患者の各団体が、医療福祉および生活全般についての相談に応じたり、医療についての研修会を開催するなどのほか、広く市民に対し難病問題の啓発を行うことで、病気についての正しい知識の普及が図られ、難病患者とその家族の福祉向上に寄与することができることから、事業内容における患者団体への支援状況、講演会開催回数、相談件数等により、効果を測定する。

(達成状況)

1. 育成援助について～32疾病別団体および19地域支部の育成援助を行っている。
2. 医療講演会や相談～年間1276件
3. 宣伝啓発～難病患者と家族の全道集会の開催や機関誌「なんれん」の発行

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input type="checkbox"/>	北海道難病連の開催する講演会や各支部の患者会主催の研修会、機関誌「なんれん」による普及啓発活動、全道大会や患者会における患者・家族の交流、各支部における医療・福祉・生活全般に関する相談等により、難病患者やその家族が身体的・精神的な苦痛を軽減することができており、難病患者支援に関し一定の効果をあげていると評価する。
一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/>	
効果が疑問である <input type="checkbox"/>	
その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。 (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	
		平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館食品衛生協会運営費補助金	開始 年度	平成12年度
----------------	----------------	----------	--------

団体名	函館食品衛生協会
-----	----------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	函館食品衛生協会の運営費に係る補助金 ※協会の指導・啓発活動（食品衛生指導員による営業施設への指導・助言，市民啓発活動など）に係る経費補助
目 的	(目 的) 函館食品衛生協会の食品衛生指導員による食品衛生の普及・啓発活動等を支援することにより，営業施設の自主衛生管理を推進し，市民の福祉の向上を図る。
・ 効果	(効 果) 保健所の食品衛生監視員だけでは，市内の営業施設等を監視・指導することは人員的に不可能であり，食品衛生協会指導員による巡回指導での補完活動が非常に重要になっている。これらの活動により，市民の福祉の向上のみならず，観光振興や水産加工品の安全確保に役立っている。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収    入	21	300	855	0	8,021	0	2,422	11,598
	22	300	824	0	7,231	0	2,258	10,613
	23	300	804	0	6,983	0	2,120	10,207
	24	300	795	0	6,992	0	1,741	9,828
	25	300	791	0	7,220	0	1,514	9,825
支    出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑費	管理費	計
	21	6,815	502	1,515	2,159	607	0	11,598
	22	6,696	407	1,192	1,942	376	0	10,613
	23	6,643	379	893	1,889	403	0	10,207
	24	3,743	571	738	1,808	693	2,275	9,828
25	2,500	477	870	1,808	814	3,356	9,825	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館食品衛生協会運営費補助金
----------------	----------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	食品衛生協会の指導員による活動は、業界全体の衛生管理の向上を推進させるとともに、市民レベルの衛生意識の普及啓発に資する。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	保健所の食品衛生監視員は限られており、現在の人員では十分な指導・啓発は不可能であり、食品衛生協会の指導員活動に頼らざるを得ない状況にある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	経費の削減などを進めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	法人格を持たず、収益事業の実施が難しく、会の運営を安定させるためには、運営費の補助しか方法がない。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input checked="" type="checkbox"/>	補助開始当時の資料が廃棄されており、積算内訳等は不明。(前年度額を踏襲) 今後、他補助金を参考に検討する。
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算内訳は不明 (前年度額を踏襲) 他都市でも積算基準が決められていないので、今後、他補助金を参考に検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館食品衛生協会運営費補助金
----------------	----------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法、具体的な数値等)

食品衛生協会の活動内容を確認し、市の食品衛生行政にどの程度寄与しているか確認する。  
特に、その中でも食品衛生指導員による指導啓発活動は、保健所食品衛生監視員の監視指導を補完していることから、指導員の活動状況を把握することによって数値的效果を把握できる。

(達成状況)

食品衛生協会による主な指導啓発活動

1 食品衛生指導員活動

①新指導員の養成 23年度6名 24年度14名 25年度18名(予定)

②指導員の研修活動 23年度(9月)61名(3月)66名 24年度(9月)68名(3月)45名 25年度も予定

③指導員の指導啓発活動 23年度1,463施設 24年度1,096施設

2 市民への指導啓発活動

①街頭啓発(23年8月2日、24年8月3日、25年度も予定) ②健康まつりでの啓発(23年8月21日)

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/>	現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。 (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/>	見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	その他	
(廃止の理由) (廃止の時期)		(その他の内容)

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/>	終期到来により廃止	次回チェック年度(予定) 平成27年度
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/>	終期到来時に再検討	

# 補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館の街をきれいにする市民運動協議会補助金	開 始 年 度	平成18年度
----------------	-----------------------	------------	--------

団 体 名	函館の街をきれいにする市民運動協議会
-------	--------------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	当該協議会は、市内の町会・自治会、老人クラブ、PTA等を構成団体（平成24年度末491団体）とし、市補助金と事業所等からの賛助金により運営され、行政と連携を図りながら、環境美化実践活動（全市一斉清掃、ボランティア清掃等）や環境美化啓発活動（ごみのポイ捨て防止キャンペーン、クリーン・ウォーキング大作戦等）などに取り組んでいる。
目 的	（目 的） 函館の街をきれいにするため、ごみのポイ捨てを防止し、大事な資源をごみにしない、捨てない意識の定着を図り、環境美化とごみの減量を促進することを目的とする。
・ 効果	（効 果） 資源のリサイクルと環境美化に対する市民意識が高まり、ごみの減量化とごみの散乱状況に減少傾向が見られ、国際観光都市「函館」のイメージアップに大きく寄与している。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収    入	21	475		1,587		9	1	2,072
	22	450		1,587		9	1	2,047
	23	400		1,518		9	1	1,928
	24	360		1,673		9	3	2,045
	25	350		1,500		9	3	1,862
	支    出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等		予備費
21		505	269	1,289				2,063
22		527	253	1,258				2,038
23		545	264	1,110				1,919
24		566	365	1,105				2,036
25		577	133	1,142			10	1,862

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館の街をきれいにする市民運動協議会補助金
----------------	-----------------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	函館の街をきれいにするため、ごみのポイ捨てを防止し、大事な資源をごみにしない、捨てない意識の定着を図り、環境美化とごみの減量を促進する事業である。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	国際観光都市「函館」のイメージアップに大きく寄与している。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市補助金のほかに、事業所等から賛助金を集めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市補助金および事業所等からの賛助金により運営され、官民一体となって「きれいな街づくり」に取り組む必要がある。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	現在、具体的な積算基準は定めていないが、今後、補助事業費等を勘案した積算基準を策定する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館の街をきれいにする市民運動協議会補助金
----------------	-----------------------

## ○補助効果の検証

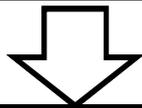
(効果測定方法, 具体的な数値等)

毎年度継続して構成団体が環境美化実践活動に参加しており, 平成24年度活動として, 延べ458団体・16,238人の参加実績があった。また, 構成団体中, 424団体(平成25年7月末)が集団資源回収を実施している。

(達成状況)

市民による資源のリサイクルと環境美化に対する意識が高まっており, 集団資源回収においては, ごみの減量化, ごみ処理経費の削減, 埋立処分場の延命化に寄与している。

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	市民の環境意識が高まり, 本市におけるリサイクルおよび環境美化の推進に一定の効果をあげているが, 今後も更なるごみのポイ捨て防止と大事な資源をごみにしない, 捨てない意識の定着を図る。

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/>	現行のまま補助を継続	(見直しの内容) これまでも見直しをしてきた補助金であるが, 補助金交付先団体の収支状況を再確認し, 補助金の縮減に努めるとともに, 積算基準額を明確にする。 (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/>	見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	その他	
(廃止の理由) (廃止の時期)		(その他の内容)

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/>	終期到来により廃止	次回チェック年度(予定) 平成27年度
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/>	終期到来時に再検討	

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	水難救難所補助金	開 始 年 度	昭和44年度
----------------	----------	------------	--------

団 体 名	北海道漁船海難防止・水難救済センター 函館救難所
-------	--------------------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	漁船、遊漁船、プレジャーボート等の海難事故の際、これらの救助のため出動し、多くの人命、財産を守り、地域社会で重要な役割を果たすものであることから補助することとしたものである。
目 的	(目 的) 海難事故に伴う漁民の人命、財産を守り、また、海水浴、磯釣等の事故の救助等幅広い活動を通して、沿岸海域における水難救助に重要な役割を果たし、海難事故防止にむけての啓発活動と救難体制の充実を図ることを目的とする。
・ 効果	(効 果) 沿岸海域における水難救助活動、啓蒙活動に大きく貢献し漁民等の人命、財産を守り、また、海水浴や遊漁による事故の救助に十分な対応が図られる。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金		計
		市	その他					
収     入	21	250	393	0		4		647
	22	278	452	0		6		736
	23	250	393	0		6		649
	24	250	393	0		8		651
	25	250	393	0		18		661
支     出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑費		計
	21	23		523	80	15		641
	22	23		611	80	16		730
	23	43		501	80	17		641
	24	45		500	80	8		633
	25	45		515	80	21		661

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	水難救難所補助金
----------------	----------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	水難救難所は、漁業および海上交通における海難事故に伴う人命救助、財産の保全を目的として設立された全国規模のボランティア組織である。 最近では、海洋レジャーの普及から、海浜での水難救助やプレジャーボート等による遊漁者の海難救助を行うなど、漁業者のみならず、多くの市民を対象として活動を行っているものであり、公益性が認められる。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	海を生業の糧とし、海に精通している漁業者がボランティアとして主体的に海難救助活動等を展開することは、海難事故から漁業者をはじめ、海と親しむ市民等の人命、財産を守る上で、漁業が基幹産業のひとつであり広い海域を有する本市として理想的な体制であり、市としても運営を支えていく必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	経費の削減など、自主自立に向けて努力している。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	当該補助金は、救難所員の活動を支援するものであり、補助金以外の手法は困難である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準が定められていないことから、今後、支出根拠、積算基準について検討していく。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	水難救難所補助金
----------------	----------

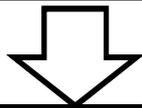
## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)  
 団体の性質上, 効果測定方法, 具体的な数値等を示すことは困難であるが, 事故発生時における出動状況, 海難事故防止の啓蒙活動, 実地訓練の実施状況により効果の測定としたい。

出動状況 平成21年度: 0件, 平成22年度: 0件, 平成23年度: 0件

(達成状況)  
 平成24年度 ○出動状況 0件 ○啓蒙活動 3回 ○実地訓練 1回  
 市補助金額 250,000円

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 補助金交付先団体の収支状況を再確認し, 補助金の縮減に努めるとともに, 積算基準額を明確にする。 (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	
		平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	水難救難所補助金	開 始 年 度	平成17年度
----------------	----------	------------	--------

団 体 名	北海道漁船海難防止・水難救済センター 戸井救難所
-------	--------------------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	漁船、遊漁船、プレジャーボート等の海難事故の際、これらの救助のため出動し、多くの人命、財産を守り、地域社会で重要な役割を果たすものであることから補助することとしたものである。
目 的	(目 的) 海難事故に伴う漁民の人命、財産を守り、また、海水浴、磯釣等の事故の救助等幅広い活動を通して、沿岸海域における水難救助に重要な役割を果たし、海難事故防止にむけての啓発活動と救難体制の充実を図ることを目的とする。
・ 効果	(効 果) 沿岸海域における水難救助活動、啓蒙活動に大きく貢献し漁民等の人命、財産を守り、また、海水浴や遊漁による事故の救助に十分な対応が図られる。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収     入	21	240	427	0		0	10	677
	22	287	576	0		0	10	873
	23	240	427	0		0	1	668
	24	240	427	0		0	0	667
	25	240	427	0		0	1	668
支     出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑費		計
	21	40		530	80	27		677
	22	40		746	80	7		873
	23	80		497	80	11		668
	24	80		500	80	7		667
25	80		493	80	15		668	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	水難救難所補助金
----------------	----------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	水難救難所は、漁業および海上交通における海難事故に伴う人命救助、財産の保全を目的として設立された全国規模のボランティア組織である。 最近では、海洋レジャーの普及から、海浜での水難救助やプレジャーボート等による遊漁者の海難救助を行うなど、漁業者のみならず、多くの市民を対象として活動を行っているものであり、公益性が認められる。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	海を生業の糧とし、海に精通している漁業者がボランティアとして主体的に海難救助活動を展開することは、海難事故から漁業者をはじめ、海と親しむ市民等の人命、財産を守る上で、漁業が基幹産業のひとつであり広い海域を有する本市として理想的な体制であり、市としても運営を支えていく必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	経費の削減など、自主自立に向けて努力している。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	当該補助金は、救難所員の活動を支援するものであり、補助金以外の手法は困難である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準が定められていないことから、今後、支出根拠、積算基準について検討していく。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	水難救難所補助金
----------------	----------

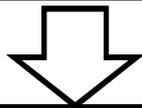
## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)  
 団体の性質上, 効果測定方法, 具体的な数値等を示すことは困難であるが, 事故発生時における出動状況, 海難事故防止の啓蒙活動, 実地訓練の実施状況により効果の測定としたい。

出動状況 平成21年度: 0件, 平成22年度: 1件, 平成23年度: 0件

(達成状況)  
 平成24年度 ○出動状況 3件 ○啓蒙活動 0回 ○実地訓練 0回  
 市補助金額 240,000円

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 補助金交付先団体の収支状況を再確認し, 補助金の縮減に努めるとともに, 積算基準額を明確にする。 (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	
		平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	水難救難所補助金	開 始 年 度	平成17年度
----------------	----------	------------	--------

団 体 名	北海道漁船海難防止・水難救済センター えさん救難所
-------	---------------------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	漁船、遊漁船、プレジャーボート等の海難事故の際、これらの救助のため出動し、多くの人命、財産を守り、地域社会で重要な役割を果たすものであることから補助することとしたものである。
目 的	(目 的) 海難事故に伴う漁民の人命、財産を守り、また、海水浴、磯釣等の事故の救助等幅広い活動を通して、沿岸海域における水難救助に重要な役割を果たし、海難事故防止にむけての啓発活動と救難体制の充実を図ることを目的とする。
・ 効 果	(効 果) 沿岸海域における水難救助活動、啓蒙活動に大きく貢献し漁民等の人命、財産を守り、また、海水浴や遊漁による事故の救助に十分な対応が図られる。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収     入	21	150	157	0		0	0	307
	22	287	846	0		0	0	1,133
	23	90	217	0		0	1	308
	24	90	217	0		0	0	307
	25	90	217	0		0	0	307
支     出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑費		計
	21	74		153	80	0		307
	22	74		979	80	0		1,133
	23	145		77	80	6		308
	24	144		62	80	21		307
	25	145		80	80	2		307

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	水難救難所補助金
----------------	----------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	水難救難所は、漁業および海上交通における海難事故に伴う人命救助、財産の保全を目的として設立された全国規模のボランティア組織である。 最近では、海洋レジャーの普及から、海浜での水難救助やプレジャーボート等による遊漁者の海難救助を行うなど、漁業者のみならず、多くの市民を対象として活動を行っているものであり、公益性が認められる。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	海を生業の糧とし、海に精通している漁業者がボランティアとして主体的に海難救助活動を展開することは、海難事故から漁業者をはじめ、海と親しむ市民等の人命、財産を守る上で、漁業が基幹産業のひとつであり広い海域を有する本市として理想的な体制であり、市としても運営を支えていく必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	経費の削減など、自主自立に向けて努力している。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	当該補助金は、救難所員の活動を支援するものであり、補助金以外の手法は困難である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準が定められていないことから、今後、支出根拠、積算基準について検討していく。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	水難救難所補助金
----------------	----------

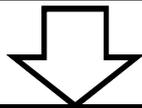
## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)  
 団体の性質上, 効果測定方法, 具体的な数値等を示すことは困難であるが, 事故発生時における出動状況, 海難事故防止の啓蒙活動, 実地訓練の実施状況により効果の測定としたい。

出動状況 平成21年度: 0件, 平成22年度: 0件, 平成23年度: 0件

(達成状況)  
 平成24年度 ○出動状況 0件 ○啓蒙活動 2回 ○実地訓練 0回  
 市補助金額 90,000円

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 補助金交付先団体の収支状況を再確認し, 補助金の縮減に努めるとともに, 積算基準額を明確にする。 (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	水難救難所補助金	開 始 年 度	平成17年度
----------------	----------	------------	--------

団 体 名	北海道漁船海難防止・水難救済センター 般法華救難所
-------	---------------------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	漁船、遊漁船、プレジャーボート等の海難事故の際、これらの救助のため出動し、多くの人命、財産を守り、地域社会で重要な役割を果たすものであることから補助することとしたものである。
目 的	(目 的) 海難事故に伴う漁民の人命、財産を守り、また、海水浴、磯釣等の事故の救助等幅広い活動を通して、沿岸海域における水難救助に重要な役割を果たし、海難事故防止にむけての啓発活動と救難体制の充実を図ることを目的とする。
・ 効 果	(効 果) 沿岸海域における水難救助活動、啓蒙活動に大きく貢献し漁民等の人命、財産を守り、また、海水浴や遊漁による事故の救助に十分な対応が図られる。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金		計
		市	その他					
収    入	21	80	93	0		18		191
	22	92	273	0		0		365
	23	40	133	0		0		173
	24	40	133	0		8		181
	25	40	133	0		5		178
支    出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑費		計
	21	15		96	80	0		191
	22	17		268	80	0		365
	23	33		52	80	0		165
	24	30		64	80	1		175
	25	30		67	80	1		178

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	水難救難所補助金
----------------	----------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	水難救難所は、漁業および海上交通における海難事故に伴う人命救助、財産の保全を目的として設立された全国規模のボランティア組織である。 最近では、海洋レジャーの普及から、海浜での水難救助やプレジャーボート等による遊漁者の海難救助を行うなど、漁業者のみならず、多くの市民を対象として活動を行っているものであり、公益性が認められる。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	海を生業の糧とし、海に精通している漁業者がボランティアとして主体的に海難救助活動を展開することは、海難事故から漁業者をはじめ、海と親しむ市民等の人命、財産を守る上で、漁業が基幹産業のひとつであり広い海域を有する本市として理想的な体制であり、市としても運営を支えていく必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	経費の削減など、自主自立に向けて努力している。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	当該補助金は、救難所員の活動を支援するものであり、補助金以外の手法は困難である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準が定められていないことから、今後、支出根拠、積算基準について検討していく。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	水難救難所補助金
----------------	----------

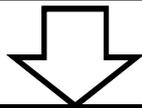
## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)  
 団体の性質上, 効果測定方法, 具体的な数値等を示すことは困難であるが, 事故発生時における出動状況, 海難事故防止の啓蒙活動, 実地訓練の実施状況により効果の測定としたい。

出動状況 平成21年度: 0件, 平成22年度: 0件, 平成23年度: 1件

(達成状況)  
 平成24年度 ○出動状況 0件 ○啓蒙活動 1回 ○実地訓練 0回  
 市補助金額 40,000円

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 補助金交付先団体の収支状況を再確認し, 補助金の縮減に努めるとともに, 積算基準額を明確にする。 (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	
		平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	水難救難所補助金	開 始 年 度	平成17年度
----------------	----------	------------	--------

団 体 名	北海道漁船海難防止・水難救済センター 南かやべ救難所
-------	----------------------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	漁船、遊漁船、プレジャーボート等の海難事故の際、これらの救助のため出動し、多くの人命、財産を守り、地域社会で重要な役割を果たすものであることから補助することとしたものである。
目 的	(目 的) 海難事故に伴う漁民の人命、財産を守り、また、海水浴、磯釣等の事故の救助等幅広い活動を通して、沿岸海域における水難救助に重要な役割を果たし、海難事故防止にむけての啓発活動と救難体制の充実を図ることを目的とする。
・ 効 果	(効 果) 沿岸海域における水難救助活動、啓蒙活動に大きく貢献し漁民等の人命、財産を守り、また、海水浴や遊漁による事故の救助に十分な対応が図られる。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収     入	21	120	427	0		2	40	589
	22	296	1,201	0		0	40	1,537
	23	120	427	0		6	30	583
	24	120	427	0		2	390	939
	25	120	427	0		8	31	586
支     出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑費		計
	21	45		454	80	10		589
	22	45		1,404	80	3		1,532
	23	90		408	80	3		581
	24	90		758	80	3		931
25	90		410	80	6		586	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	水難救難所補助金
----------------	----------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	<p>公益性 (明確な公益性があるか)</p> <p>①広く市民生活の向上に貢献する事業</p> <p>②市民ニーズが高い事業</p>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>水難救難所は、漁業および海上交通における海難事故に伴う人命救助、財産の保全を目的として設立された全国規模のボランティア組織である。</p> <p>最近では、海洋レジャーの普及から、海浜での水難救助やプレジャーボート等による遊漁者の海難救助を行うなど、漁業者のみならず、多くの市民を対象として活動を行っているものであり、公益性が認められる。</p>
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>海を生業の糧とし、海に精通している漁業者がボランティアとして主体的に海難救助活動等を展開することは、海難事故から漁業者をはじめ、海と親しむ市民等の人命、財産を守る上で、漁業が基幹産業のひとつであり広い海域を有する本市として理想的な体制であり、市としても運営を支えていく必要がある。</p>
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>経費の削減など、自主自立に向けて努力している。</p>
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>当該補助金は、救難所員の活動を支援するものであり、補助金以外の手法は困難である。</p>

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>積算基準が定められていないことから、今後、支出根拠、積算基準について検討していく。</p>
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	水難救難所補助金
----------------	----------

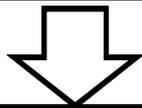
## ○補助効果の検証

(効果測定方法、具体的な数値等)  
 補助金の性質上、効果測定方法、具体的な数値等を示すことは困難であるが、事故発生時における出動状況、海難事故防止の啓蒙活動、実地訓練の実施状況により効果の測定としたい。

出動状況 平成21年度：0件、平成22年度：3件、平成23年度：1件

(達成状況)  
 平成24年度 ○出動状況 2件 ○啓蒙活動 1回 ○実地訓練 0回  
 市補助金額 120,000円

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。 (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	
		平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート(No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市教育研究活動推進事業補助金	開始 年 度	昭和47年度
----------------	------------------	-----------	--------

団 体 名	函館市教育研究会連絡協議会
-------	---------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	市内教職員による各教科等の研究団体(44団体および事務局)が、効果的な教育活動を研究・実践するため、全道・全国の各種研究会・研修会への参加や、指導方法の改善など自主的な研究活動に取り組んでいる。
目 的	(目 的) 学校教育の充実・向上を図るため
・ 効 果	(効 果) 研究実践の推進により、教職員全体の資質向上と本市教育水準の一層の向上が期待できる。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑入	計
		市	その他					
収     入	21	700	20		3,389		213	4,322
	22	700	20		3,473		78	4,271
	23	700	20		3,397		38	4,155
	24	700	20		3,351		38	4,109
	25	700	20		3,345		35	4,100
	支     出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑費	
21			761	3,353		208		4,322
22			761	3,353		208		4,322
23			776	3,260		137		4,173
24			757	3,218		134		4,109
25			689	3,274		137		4,100

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市教育研究会活動推進事業補助金
----------------	-------------------

## ○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	教育研究活動は指導方法等に関する情報交換はもとより、教材・教具の共同開発や共有化等を行っており、市全域の教育レベルの向上と平準化に寄与している。 また、各研究会が解散した場合には、関係する全国・全道大会の誘致ができず、市の教育水準の向上に悪影響が生じる。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	教職員個人の資質向上だけでは市の教育水準の向上は図れないことから、各研究会に対する一定の補助は必要である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	各研究会では、会費を徴収して収入確保に努めているほか、経費の節減にも努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	団体の自主性を尊重するため、現在の方法が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていないことから、事業内容や収支状況を精査するなかで、団体運営に支障を来さない範囲を見極め、積算基準の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	教員数の減少に伴い、主な自主財源である会費収入が減少していることから、会費の見直しを含めた財源確保策について協議していく。
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート(No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市教育研究活動推進事業補助金
----------------	------------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

本補助事業の効果は教職員の資質向上や教育力の向上であるため, 効果測定の数値基準を設定することは困難であるが, 実績報告により事業内容が補助の目的・趣旨に合致しているかどうか確認し, 効果を測定する。

(達成状況)

各研究会がそれぞれ全国・全道大会への参加をはじめ, 授業研究や公開授業などに取組み, 教職員の資質向上や研究実践など教育力の向上に効果があった。  
また, 各研究会の取組みにより全国・全道大会が数多く開催され, 教育振興のみならず地域活性化につながっている。

(参考) 函館市で開催された各研究会の全国・全道大会  
 平成24年度: 全国大会 0件 全道大会 3件  
 平成25年度: 全国大会 1件 全道大会 4件

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

<p>(評価)</p> <p>十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>一定の効果をあげている <input type="checkbox"/></p> <p>効果が疑問である <input type="checkbox"/></p> <p>その他 <input type="checkbox"/></p>	<p>(理由)</p>
--	-------------

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	<p>(見直しの内容)</p> <p>補助金交付先団体の収支状況を再確認し, 補助金の縮減に努めるとともに, 積算基準額を明確にする。</p> <p>(見直しの時期)</p> <p>平成27年度</p>
<p>(廃止の理由)</p> <p>(廃止の時期)</p>	<p>(その他の内容)</p>

## ○終期の設定

<p>終期設定</p> <p>平成27年度</p>	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	<p>次回チェック年度(予定)</p> <p>平成27年度</p>
---------------------------	---	-----------------------------------

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市幼児教育研究会補助金	開 始 年 度	昭和32年度
----------------	---------------	------------	--------

団 体 名	函館市幼児教育研究会
-------	------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	幼稚園教育充実のため、幼稚園・小学校連絡協議会を開催し、公開保育・公開授業を行うほか、研修会（講演会）を開催するなど、効果的な教育活動の研究および幼稚園教員の資質向上を図っている。
目 的	(目 的) 幼児教育の充実向上を図るため
・ 効果	(効 果) 幼稚園教育の進展と水準向上、就学前教育と学校教育の連携強化が期待できる。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金		計
		市	その他					
収	21	80			144			224
	22	80			141			221
	23	80			139			219
入	24	80			139			219
	25	72			139			211
	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21		10	214				224
支	22		26	195				221
	23		17	202				219
	24		11	208				219
出	25		11	200				211

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市幼児教育研究会補助金
----------------	---------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか)  ①広く市民生活の向上に貢献する事業  ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	函館市の全市域において、一律に幼児教育の充実向上が図られることはもとより、就学前教育と学校教育の連携が保たれる。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていないことから、事業内容や収支状況を精査するなかで、団体運営に支障を来さない範囲を見極め、積算基準の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市幼児教育研究会補助金
----------------	---------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

幼稚園と小学校で行っている公開保育・公開授業や, 研修会(講演会)などの参加者数により効果を測定する。

(達成状況)

(1) 公開保育・公開授業への参加人数(記録集を配付し不参加教諭にも情報提供している。)

	H22幼稚園公開保育	H23小学校公開授業	H24幼稚園公開保育
小学校教諭	57	73	37
幼稚園・保育所	93	109	65
合計	150	182	102

(2) 平成24年度研修会・講演会実施状況

- ・4月25日開催 52人
- ・1月18日開催 55人

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

<p>(評価)</p> <p>十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>一定の効果をあげている <input type="checkbox"/></p> <p>効果が疑問である <input type="checkbox"/></p> <p>その他 <input type="checkbox"/></p>	<p>(理由)</p>
--	-------------

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	<p>(見直しの内容)</p> <p>平成25年度に見直しをした補助金であるが, 補助金交付先団体の収支状況を再確認し, 補助金の縮減に努めるとともに, 積算基準額を明確にする。</p> <p>(見直しの時期)</p> <p>平成27年度</p>
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	

(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館盲ろう教育後援会補助金	開 始 年 度	昭和45年度
----------------	---------------	------------	--------

団 体 名	函館盲聾教育後援会
-------	-----------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	視覚および聴覚に障がいのある幼児・児童・生徒の修学支援活動や広報活動などを通じ、学校教育活動の充実を図っている。
目 的	(目 的) 障がい児教育の重要性から、盲ろう教育の振興に寄与するため
・ 効 果	(効 果) 盲ろう教育の振興と障がい児教育への理解と協力が期待される。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収     入	21	50	171		1,100	6		1,327
	22	50	165		940		1	1,156
	23	50	165		1,000		1	1,216
	24	50	165		1,000		1	1,216
	25	50	165		1,000		1	1,216
	支     出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等		
21			267	1,060				1,327
22			256	900				1,156
23			316	900				1,216
24			316	900				1,216
25			316	900				1,216

## 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館盲ろう教育後援会補助金
----------------	---------------

### ○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか)  ①広く市民生活の向上に貢献する事業  ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	障がい児の修学支援や広報活動など、盲ろう教育の振興に寄与している。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	障がい児教育の充実・振興に取り組んでいる後援会活動への補助は必要である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	広報活動による会員の増や経費の削減などに努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	団体の自主性を尊重するため、現在の方法が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

### ○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていないことから、事業内容や収支状況を精査するなかで、団体運営に支障を来さない範囲を見極め、積算基準の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート(No.3)

補助金名 (交付金名)	函館盲ろう教育後援会補助金
----------------	---------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
本補助事業の効果は盲ろう教育の振興であるため, 効果の測定や具体的な数値を計上することは難しいが, 実績報告により, 事業内容が補助の目的・趣旨に合致しているかどうか確認し, 効果を測定する。
(達成状況)
盲・聾学校それぞれの教育の実情に即した支援活動により, 児童生徒個々の社会自立へのきめ細やかな教育や指導の充実が図られた。また, 機関誌の発行や教育福祉合同作品展などの広報活動を通じて, 一般市民, 事業所・諸団体に盲ろう児童生徒に対する教育内容や活動等の実情を紹介し, 理解や協力を得るなどの効果があった。

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/>	
一定の効果をあげている <input type="checkbox"/>	
効果が疑問である <input type="checkbox"/>	
その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容)
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(見直しの時期)	補助金交付先団体の収支状況を再確認し, 補助金の縮減に努めるとともに, 積算基準額を明確にする。
(廃止の理由)	(見直しの時期)
(廃止の時期)	平成27年度
	(その他の内容)

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市高等学校定時制教育振興会補助金	開 始 年 度	昭和29年度
----------------	--------------------	------------	--------

団 体 名	函館市高等学校定時制教育振興会
-------	-----------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	市内定時制高校の教育活動の振興を図るため、定時制高校在学者を対象とした生活体験発表大会や体育大会の開催・参加・派遣への支援や広報活動などを行っている。
目 的	(目 的) 定時制高校教育の振興に寄与するため
・ 効 果	(効 果) 定時制高校教育の振興と定時制高校への理解と協力が期待される。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金		計
		市	その他					
収     入	21	50	200		560			810
	22	50	200		490			740
	23	50	200		490			740
	24	50	200		490			740
	25	50	200		490			740
支     出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21		85	725				810
	22		38	702				740
	23		50	690				740
	24		50	690				740
	25		50	690				740

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市高等学校定時制教育振興会補助金
----------------	--------------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明	
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	生徒の修学支援や広報活動など、定時制教育の振興に寄与している。	
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		定時制教育の充実・振興に取り組んでいる振興会活動への補助は必要である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		広報活動による会員の増や経費の削減などに努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	団体の自主性を尊重するため、現在の方法が最適である。	

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていないことから、事業内容や収支状況を精査するなかで、団体運営に支障を来さない範囲を見極め、積算基準の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市高等学校定時制教育振興会補助金
----------------	--------------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
本補助事業の効果は定時制教育の振興であるため, 効果の測定や具体的な数値を計上することは難しいが, 実績報告により, 事業内容が補助の目的・趣旨に合致しているかどうか確認し, 効果を測定する。
(達成状況)
本市での渡島地区生活体験発表大会の開催や文化・体育に係る全道・全国大会参加に係る支援など, 定時制教育の充実発展および地域の理解・協力体制の醸成, また生徒の修学意欲の向上に効果があった。

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 補助金交付先団体の収支状況を再確認し, 補助金の縮減に努めるとともに, 積算基準額を明確にする。 (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市PTA連合会補助金	開 始 年 度	昭和37年度
----------------	--------------	------------	--------

団 体 名	函館市PTA連合会
-------	-----------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	P T A活動の目的達成のため、各校単位P T Aや北海道P T A連合会と密接な連携をとりながら、青少年の健全育成を目指した各種事業や研修活動の推進を図る。
目 的	(目 的) 現代社会における児童生徒の人間形成のため、市内の小中学校の単位P T Aの連合体として、教育課題を見据えた研究大会や研修会など合同事業の効率的運営と実施を図る。
・ 効果	(効 果) P T A活動の促進および充実が図られ、児童生徒の健全育成、地位の発展、生涯学習の推進等、多大な効果が得られる。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収     入	21	1,650	195		2,880	42	7	4,774
	22	1,650	193		2,814	46	5	4,708
	23	1,650	190		2,765	33	8	4,646
	24	1,485	188		2,695	24	1	4,393
	25	1,485	186		2,633	32	1	4,337
支     出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑 費	予備費	計
	21	1,400	320	1,478	1,522	8		4,728
	22	1,402	303	1,474	1,486	10		4,675
	23	1,395	300	1,417	1,462	48		4,622
	24	1,385	266	1,268	1,423	18		4,360
25	1,385	300	1,220	1,389	28	15	4,337	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市PTA連合会補助金
----------------	--------------

## ○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>   <input checked="" type="checkbox"/>  <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>   <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>	PTA連合会は市内小中学校の単位PTAの連合体(小中74校加盟)として編制されており、一学校を超えた広域的問題の解決に向けた様々な活動に取り組む団体として、広く市民生活の向上に貢献している。
2	必要性(補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	児童生徒の健全育成のために学校・家庭・地域の連携の核となるPTA活動に支障をきたすことは、学校教育・社会教育の両面で大きな影響を受けるため、補助する必要がある。
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	児童生徒数の減少により、財政的に逼迫しているなか、事業経費等の見直しを行い、効率的な運営に努めている。
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	団体の性質上、市が主体となって運営することはできないため、現在の方法が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていないことから、事業内容や収支状況を精査するなかで、団体運営に支障を来さない範囲を見極め、積算基準の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている(最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	児童生徒数の減少に伴い会費収入も減少していることから、当団体では、平成26年度に会費を値上げし、財源確保に努める予定である。
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市PTA連合会補助金
----------------	--------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法、具体的な数値等)

実績報告により事業内容が補助の目的・趣旨に合致しているか確認し、効果を測定する。

(達成状況)

平成24年度は、市内74の単位PTAや北海道PTA連合会と密接な連携を図りながら、児童生徒の健全育成、成人教育のための研修活動、学校教育の条件整備等の推進に努め、PTA活動本来の目的を達成し、社会教育の振興に貢献した。

※主な活動と参加者数  
 函館地区広報活動研修会 63人、北海道PTA連合会総会への参加 4人  
 第48回函館市P連研究大会 485人、市P連表彰式・新年交礼会開催 541人

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 平成24年度に見直しをした補助金であるが、補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。 (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	平成27年度

# 補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市文化団体協議会補助金	開 始 年 度	昭和39年度
----------------	---------------	------------	--------

団 体 名	函館市文化団体協議会
-------	------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	当該団体は、函館市内の文化団体50団体(H25.5現在)の加盟からなり、文化団体相互の連絡・調整を図り、市民文化の向上を図ることを目的として、市民文化祭や市民文化交歓のつどい、表彰事業、広報誌の発行、ジョイントステージ、ジョイントギャラリー展等を実施している。
目 的	(目 的) 市内の各文化団体の連絡調整ならびに各種文化芸術事業を実施することで、地域の文化芸術の向上に寄与するため。
・ 効 果	(効 果) 函館市民文化祭やジョイントステージ等各種文化事業の開催や加盟する団体の活動を通じて、市民が文化芸術に接する機会を提供するとともに、連合体として本市の文化振興の一翼を担う存在としてその役割を果たしている。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収     入	21	2,000		5,229	1,560	46	1	8,836
	22	2,000		5,314	1,255	33	33	8,635
	23	2,000		4,150	1,590	40	83	7,863
	24	2,000		4,479	1,380		1	7,860
	25	2,000		4,256	1,440	135	1	7,832
支     出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑 費	予備費	計
	21	2,277	1,143	5,170	63	150		8,803
	22	2,239	848	5,303	55	150		8,595
	23	2,267	973	4,589	34			7,863
	24	2,270	859	4,364	82	150		7,725
25	2,270	1,015	4,430	65		52	7,832	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市文化団体協議会補助金
----------------	---------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	文化団体協議会は、函館市唯一の文化団体の連合体(50団体加盟)として文化活動を広く推進しており、市民文化祭やジョイントステージ等各種文化事業の開催など、高齢者から子どもまで文化芸術に触れる機会を広く提供し、市民生活の向上に貢献している。
2	必要性(補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	函館市唯一の文化団体の連合体であり、事業の円滑な運営を図るため補助する必要がある。
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	会員の確保や協賛金・事業収入の増収に努めているほか、事業経費等の見直しを行い効率的な運営に努めている。
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市が主体となって運営することはできないため、現在の方法が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていないことから、事業内容や収支状況を精査するなかで、団体運営に支障を来さない範囲を見極め、積算基準の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市文化団体協議会補助金
----------------	---------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法、具体的な数値等)

実績報告により事業内容が補助の目的・趣旨に合致しているか確認し、効果を測定する。

---

(達成状況)

平成24年度は、市民文化祭、ジョイントステージ等の開催および加盟団体主催事業の共催・後援を行った。また、小・中・高等学校に芸術家等が出向き、子どもたちに文化芸術のすばらしさや楽しさを体感してもらうことを目的とした「文化芸術アウトリーチ事業」では、文化芸術に関する知識と専門性を備えていることで函館市から運営を委託し、年40回、延べ1,959人(平成24年度実績)の多くの児童生徒に受講してもらい、函館市の文化芸術の向上に大いに貢献した。

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。 (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館こども劇場運営事業補助金	開 始 年 度	昭和48年度
----------------	----------------	------------	--------

団 体 名	函館こども劇場
-------	---------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	舞台芸術の鑑賞例会および自主創造の活動。
目 的	(目 的) 青少年の健全育成のため。
・ 効 果	(効 果) 子どもに取り巻くより良い文化環境を整備し、豊かな感受性と創造性、あわせて自主性・協調性に富んだ子ども達を育成することにより、優れた児童文化の創造発展の推進が図られる。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収     入	21	100			7,510		47	7,657
	22	100			7,205		47	7,352
	23	100			6,083		47	6,230
	24	100			5,271		47	5,418
	25	100			4,876		20	4,996
支     出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21	1,440	907	4,351	959			7,657
	22	1,380	892	4,146	934			7,352
	23	1,020	935	3,390	885			6,230
	24	840	893	2,944	741			5,418
	25	660	827	2,859	650			4,996

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館こども劇場運営事業補助金
----------------	----------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	児童の文化活動の貢献に努めながら、子ども達の豊かな感受性と自主性・創造性を育み健全な成長を図るとともに、親と子のふれあいを深めている。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	子どもの成長に必要な豊かな感受性と情操を育てる手段として、児童向けの舞台芸術を紹介する団体の役割はきわめて大きい。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	「函館市子育て支援ネットワーク」への参加をはじめ、会員増に向けて努力している。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	子どもたちの豊かな情操の育成を期待するものであり、補助の形態が望ましい。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input checked="" type="checkbox"/>	定額の補助金額で継続しているため、今後、補助廃止を見据えた見直しを行う。
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	定額の補助金額で継続しているため、今後、補助廃止を見据えた見直しを行う。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	全国的な少子化傾向のため会員自体は減少しているが、総事業費の大部分を会費で賄っている。
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館こども劇場運営事業補助金
----------------	----------------

## ○補助効果の検証

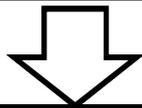
(効果測定方法, 具体的な数値等)

子どもを取り巻くより良い文化環境を整備し, 豊かな感受性と創造性, あわせて自主性・協調性に富んだ子ども達を育成することにより, 優れた児童文化の創造発展の推進が図られている。

(達成状況)

- ・鑑賞例会 (全8回)
- ・キッズフェスティバル
- ・各ブロックによる地域活動

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input type="checkbox"/>	・鑑賞例会において, 優れた舞台芸術を親子で鑑賞することにより, 子どもの豊かな情操を育てるとともに親子の対話を深められている。 ・自主活動においては子どもの活動性・自発性・創造性の育成とともに将来の市民文化の担い手としての健全な発達に寄与している。
一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/>	
効果が疑問である <input type="checkbox"/>	
その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 補助金交付先団体の収支状況を再確認し, 補助廃止も見据えた見直しを進める。 (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定) 平成27年度
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館ユネスコ協会補助金	開 始 年 度	昭和54年度
----------------	-------------	------------	--------

団 体 名	函館ユネスコ協会
-------	----------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	函館市内および近郊の住民を対象として、普及事業、青少年育成事業、国際交流事業を中心としたユネスコ活動を推進している。
目 的	(目 的) 当該団体は、ユネスコ憲章の精神に基づき、市内における活動の推進を図り、国際的相互理解と親善に努め、世界平和と人類の福祉に寄与することを目的としており、その活動は函館市の社会教育にとっても有意義である。
・ 効 果	(効 果) ユネスコ活動の推進により、地域の発展と世界平和に貢献している。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		協賛金	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収    入	21	50		20	464	1	1	536
	22	50		20	404	1	1	476
	23	50		20	404	1	1	476
	24	45		20	404		1	470
	25	45		20	418		1	484
支    出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	予備費		計
	21		172	200	163			535
	22		143	177	155			475
	23		97	228	150			475
	24		99	223	148			470
25		183	185	115		1	484	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館ユネスコ協会補助金
----------------	-------------

## ○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	函館ユネスコ協会は、多くの市民参加のもと、ユネスコファミリー劇場の開催や国際交流など様々な活動を通じ、函館市の社会教育・社会福祉を推進しており、広く市民生活の向上に貢献している。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	法律上、ユネスコ活動は国・地方公共団体が支援すべき旨規定されており、市の社会教育・社会福祉の向上に貢献する当協会の円滑な運営を図るため補助する必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	収入のほとんどが会費であり、大幅な会員増加が見込めないなか、各種行事経費等の見直しを行い、効率的な運営に努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	団体の性質上、市が主体となって運営することはできないため、現在の方法が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていないことから、事業内容や収支状況を精査するなかで、団体運営に支障を来さない範囲を見極め、積算基準の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館ユネスコ協会補助金
----------------	-------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

実績報告により事業内容が補助の目的・趣旨に合致しているか確認し, 効果を測定する。

---

(達成状況)

函館市および近郊の住民に対し, ユネスコ精神の普及を図った。また, 国際交流事業を通じ, 世界平和に向けたユネスコ事業を推進した。

- ・普及事業: 「ユネスコの集い」開催, 各種団体等の実施事業に対する後援など
- ・青少年育成事業: 「ユネスコファミリー劇場」の開催
- ・国際交流事業: 「留学生との交歓の集い」開催
- ・各種ユネスコ大会等への参加: 全道大会・旭川大会への参加

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

<p>(評価)</p> <p>十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>一定の効果をあげている <input type="checkbox"/></p> <p>効果が疑問である <input type="checkbox"/></p> <p>その他 <input type="checkbox"/></p>	<p>(理由)</p>
--	-------------

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	<p>(見直しの内容)</p> <p>平成24年度に見直しをした補助金であるが, 補助金交付先団体の収支状況を再確認し, 補助金の縮減に努めるとともに, 積算基準額を明確にする。</p> <p>(見直しの時期) 平成27年度</p>
<p>(廃止の理由)</p> <hr/> <p>(廃止の時期)</p>	<p>(その他の内容)</p>

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
平成27年度		平成27年度

# 補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	「はこだてカルチャーナイト 2013」開催補助金	開 始 年 度	平成20年度
----------------	--------------------------	------------	--------

団 体 名	はこだてカルチャーナイト実行委員会
-------	-------------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	市内の文化施設や教育施設等の公共施設をはじめ、民間企業の各施設など、普段なかなか見ることができない場所を夜間開放し、施設見学や施設ごとにイベントを実施する。
目 的	(目 的) 市内文化施設をはじめとした公共施設や民間施設を夜間開放し、文化活動の発信を通じて市民の地域文化への関心を高めることを目的とする。
・ 効 果	(効 果) 多くの歴史的・文化的資源を有する当市において、地域文化の魅力をあらためて見直す機会を提供し、施設の利用者の増加や新しい文化の創造と発展に寄与することが期待できるほか、子供から大人まで家族揃って楽しめる場として、親子のコミュニケーションが図られる。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	協賛金		計
		市	その他					
収    入	21	21			1,060	0		1,081
	22	300			874	30		1,204
	23	300			997	45		1,342
	24	270			1,298	45		1,613
	25	270			1,225	45		1,540
支    出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	予備費		計
	21		26	1,055				1,081
	22		77	1,127				1,204
	23		95	1,247				1,342
	24		92	1,521				1,613
25		120	1,410			10		1,540

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	「はこだてカルチャーナイト 2013」開催補助金
----------------	--------------------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	はこだてカルチャーナイトは市内の文化施設を夜間開放し、子どもから大人まで広く地域文化の魅力を再発見してもらい、さらなる函館市の文化芸術の発展を目的に開催しているところであり、今では函館市の恒例イベントとして広く定着し、市民生活の向上に貢献している。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市民に広く地域文化の魅力に触れる機会を提供し、函館市の文化芸術を一層向上させるイベントであり、補助する必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	収入のほとんどが自己資金であり、可能な限りの支出削減を図り、自助努力に努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	実行委員会を立ち上げ、大部分を自己資金で実施している事業の性質上、市が主体となって開催することは難しく、現在の方法が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていないことから、事業内容や収支状況を精査するなかで、団体運営に支障を来さない範囲を見極め、積算基準の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	「はこだてカルチャーナイト 2013」開催補助金
----------------	--------------------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
参加団体数と来場者数で効果を測定する。
(達成状況)
平成24年度実績 来場者数：7,792人, 参加団体：37企業・団体
※【参考】過去5年間来場者推移 〔H20〕5,725人 〔H21〕台風のため中止 〔H22〕5,590人 〔H23〕6,904人 〔H24〕7,792人

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容) 平成24年度に見直しをした補助金であるが、補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。 (見直しの時期) 平成27年度
(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容)

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
平成27年度		平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	郷土芸能函館巴太鼓振興会補助金	開 始 年 度	平成2年度
----------------	-----------------	------------	-------

団 体 名	郷土芸能函館巴太鼓振興会
-------	--------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	当該団体は、函館巴太鼓を普及・発展させることを目的として組織され、市内主要行事への参加や、市の観光PR、打出メンバーの後継者養成等を行っている。
目 的  ・ 効果	(目 的) 「函館巴太鼓」を郷土を代表する芸能として普及・発展させることを目的とした団体であり、会の運営を支援するため。
	(効 果) 本市の観光PRや観光客の歓迎、イベントの盛り上げなど多方面にわたる活動により、本市における伝統芸能の普及・振興に貢献するほか、活動部員の主体である青少年の健全育成にも貢献することが期待される。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収    入	21	500		955	375	74	1	1,905
	22	500		1,415	365	56	1	2,337
	23	500		856	355	38	1	1,750
	24	450		1,005	355	30	1	1,841
	25	450		1,000	355	38	2	1,845
支    出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑 費	予備費	計
	21		130	1,694		25		1,849
	22		105	2,169		25		2,299
	23		314	1,381		24		1,719
	24		179	1,599		24		1,802
25		240	1,560		20	25	1,845	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	郷土芸能函館巴太鼓振興会補助金
----------------	-----------------

## ○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	函館巴太鼓振興会は、郷土芸能の普及・発展を目的とし、卸売市場の初せり式や町会の夏まつり・福祉施設慰問など、市内の祭礼行事や市の主催事業および市内の一般行事に数多く参加しており、広く市民生活の向上に貢献している。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	本市を代表する郷土芸能の継承と後継者の育成に貢献するものであり、円滑な運営を図るため補助する必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事業実施による出演料収入の確保に努めているほか、会員の増による会費収入の確保にも力を入れている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	伝統芸能の普及・振興という団体の性質上、市が主体となって運営することはできないため、現在の方法が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていないことから、事業内容や収支状況を精査するなかで、団体運営に支障を来さない範囲を見極め、積算基準の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	郷土芸能函館巴太鼓振興会補助金
----------------	-----------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法、具体的な数値等)

実績報告により事業内容が補助の目的・趣旨に合致しているか確認し、効果を測定する。

(達成状況)

平成24年度は、年間を通じて45回のイベント出演や、メンバー養成など郷土芸能の継承事業を行い、市の文化・観光行政に寄与できたほか、打手メンバー各自の社会参加意識の向上に効果が得られた。

(参考)

平成23年度出演数：42回

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 平成24年度に見直しをした補助金であるが、補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。 (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館大洋倶楽部運営補助金	開 始 年 度	昭和29年度
----------------	--------------	------------	--------

団 体 名	函館大洋倶楽部
-------	---------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	「函館大洋倶楽部」は、明治40年に創立した日本最古のクラブチームであり、道南唯一の社会人野球チームとして、日本野球連盟主催の各大会に参加するなどの活動をしている。
目 的	(目 的) 日本最古の歴史と伝統を有し、市民の誇りである社会人野球チーム「函館大洋倶楽部」の活動を支援することにより、社会人野球の健全なる普及・発展を図る。
・ 効 果	(効 果) 「函館大洋倶楽部」の活躍は、青少年に夢と希望を与えるなど、野球をはじめとする体育・スポーツの発展に寄与している。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収     入	21	1,000			1,670	21	1	2,692
	22	1,000	2,424		1,560	22	1	5,007
	23	1,000			1,540	24	1	2,565
	24	1,000	1,241		1,560	23	1	3,825
	25	1,000	2,300		1,600	3	1	4,904
支     出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21		867	1,464	339			2,670
	22		859	3,779	345			4,983
	23		693	1,528	321			2,542
	24		679	2,806	337			3,822
25		820	3,745	339			4,904	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市太洋倶楽部運営補助金
----------------	---------------

## ○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>   <input checked="" type="checkbox"/>  <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>   <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>	明治40年創設の日本最古のクラブチームであり、都市対抗野球大会では、戦前戦後を通じ、北海道代表として輝かしい成績を収めている団体である。当倶楽部の活躍は市民の誇りであり、青少年に夢と希望を与えるなど、本市のスポーツの発展に大きく寄与していることから公益性が認められる。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	アマチュアクラブチームとして、一定のレベルでの活動を維持するためには助成は必要である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	運営経費の節減に努めるとともに、後援会を組織し賛助金を集めているが、補助金なしではクラブを維持することは困難である。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	団体の性質上、市が直接運営できないことから、現在の方法が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていないことから、事業内容や収支状況を精査するなかで、団体運営に支障を来さない範囲を見極め、積算基準の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市太洋倶楽部運営補助金
----------------	---------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
実績報告により, 事業内容が補助の目的・趣旨に合致しているか確認し, 効果を測定する。
(達成状況)
平成24年度各種大会出場実績 都市対抗野球大会北海道地区予選, 全日本クラブ選手権北海道予選, 東日本クラブカップ大会
倶楽部として, 北海道内で開催される主要な大会に参加しており, 優勝した場合には全国大会の出場が義務付けられている。東日本クラブカップ大会では北海道代表として出場し, 優勝を果たしている。

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/>	
一定の効果をあげている <input type="checkbox"/>	
効果が疑問である <input type="checkbox"/>	
その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	→ (見直しの内容) 補助金交付先団体の収支状況を再確認し, 補助金の縮減に努めるとともに, 積算基準額を明確にする。
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(廃止の理由)	(見直しの時期) 平成27年度
(廃止の時期)	(その他の内容)

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	→ 次回チェック年度(予定) 平成27年度
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市スポーツ少年団運営補助金	開 始 年 度	昭和 43 年度
----------------	-----------------	------------	----------

団 体 名	函館市スポーツ少年団
-------	------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	現在70の加盟団体で組織され、少年団活動の活性化のため、競技種目ごとの交流・交歓大会や指導者育成事業、団員の体力テストなどを行っている。
目 的	(目 的) 若年層へのスポーツの普及、青少年の健康増進・健全育成に資するとともに、今後より一層の活動の活性化を図る。
・ 効 果	(効 果) 少子化に伴うスポーツ機会の減少等が子どもの体力や運動能力低下を招いているなか、各スポーツ少年団を統括し、各種大会をはじめ、指導者育成や各種講習会を実施する当団体への支援により、青少年のスポーツ振興と健全育成が図られる。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収     入	21	300	221		2,701	94		3,316
	22	300	235		2,668	97		3,300
	23	300	250		2,608	102		3,260
	24	300	170		2,528	109		3,107
	25	300	0		2,480	15		2,795
支     出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21		627	1,163	1,429			3,219
	22		593	1,197	1,408			3,198
	23		563	1,184	1,404			3,151
	24		598	1,101	1,393			3,092
	25		533	904	1,358			2,795

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市スポーツ少年団運営補助金
----------------	-----------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	函館市内の11種目70団体を統轄している団体であり、スポーツを通じた青少年の心身の健全な発達を図るため、ジュニアリーダーの養成研修や指導者などへの講習会等を企画し、健全育成と競技力向上に努めていることから公益性が認められる。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	スポーツを通じた青少年の健全育成を図るため重要な役割を担っていることから、今後も支援が必要である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	厳しい経済状況から会費等の父母負担増は難しく、運営経費の縮減に努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	性質上、市が直接運営できないことから、現在の方法が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていないことから、事業内容や収支状況を精査するなかで、団体運営に支障を来さない範囲を見極め、積算基準の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input checked="" type="checkbox"/>	翌年度当初の経費支出のために、必要最低限の繰越金が必要である。
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	少子化による団体・団員数の減少に伴い、会費収入の減少傾向が続いており、保護者負担の増額も厳しい状況にあることから、民間の助成制度の活用など、自主財源の確保策について協議していく。
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市スポーツ少年団運営補助金
----------------	-----------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

団数, 指導者数, 団員数のほか, 各種交流・研修事業等の内容により, 効果を測定する。

(達成状況)

年度	団数	指導者数(人)	団員数(人)
H22	78	366	1,539
H23	79	357	1,499
H24	75	338	1,473

・各種競技交流・交歓事業, 指導者等研修・養成事業, 体力テスト等を実施  
 ※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



<p>(評価)</p> <p>十分効果をあげている <input type="checkbox"/></p> <p>一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>効果が疑問である <input type="checkbox"/></p> <p>その他 <input type="checkbox"/></p>	<p>(理由)</p> <p>スポーツに親しむ機会の創設と, スポーツ競技を通じた青少年の健全な育成など, 本市のスポーツ振興にとって有益なものであるが, 各種育成プログラムの開発や指導者・保護者(母集団)への研修等の充実が必要である。</p>
--	--

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	<p>(見直しの内容)</p> <p>補助金交付先団体の収支状況を再確認し, 補助金の縮減に努めるとともに, 積算基準額を明確にする。</p> <p>(見直しの時期)</p> <p>平成27年度</p>
<p>(廃止の理由)</p> <p>(廃止の時期)</p>	<p>(その他の内容)</p>

## ○終期の設定

<p>終期設定</p> <p>平成27年度</p>	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	<p>次回チェック年度(予定)</p> <p>平成27年度</p>
---------------------------	---	-----------------------------------

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	木直大正神楽保存会補助金	開始 年度	昭和40年度
----------------	--------------	----------	--------

団体名	木直大正神楽保存会
-----	-----------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	本団体は、旧町時代から無形民俗文化財に指定されている木直大正神楽を保存・伝承する団体として、本地域を代表する郷土芸能を保持し、その公開や伝承活動を行っている。 ※木直大正神楽 S53.2.28市指定無形民俗文化財
目 的	(目 的) 神楽を通じて地域文化の振興発展や、後継者を育成し、郷土芸能の伝承に寄与すること
・ 効果	(効 果) 小・中学生へ積極的に神楽指導を実施し、後継者の育成と郷土芸能の伝承に貢献しているほか、ひろめ舟祭り等の地域行事への出演や、旧函館市地域からの公演依頼へも積極的に対応し、市民の一体感の形成と地域文化の振興に貢献している。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収    入	21	58			15	0	8	81
	22	58			15	8	0	81
	23	58			15	1	0	74
	24	50			14	4	0	68
	25	50			52	0	1	103
支    出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑 費	予備費	計
	21		12	44		17		73
	22		10	42		28		80
	23		10	23		37		70
	24		13	40		15		68
25		20	75		8		103	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	木直大正神楽保存会補助金
----------------	--------------

## ○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域行事での公演活動など、地域文化の振興発展、郷土芸能の伝承に努めている。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	旧南茅部町時代から、無形民俗文化財に指定されており、地域を代表する郷土芸能を伝承するために補助する必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	小・中学生への積極的な指導により、後継者の育成と会員の増に努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市が主体となって運営はできないため、補助金を支出し活動を支援している。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていないことから、事業内容や収支状況を精査するなかで、団体運営に支障を来さない範囲を見極め、積算基準の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	木直大正神楽保存会補助金
----------------	--------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法、具体的な数値等)

本補助事業の効果は地域文化の振興や郷土芸能の伝承であるため、効果の測定や具体的な数値を計上することは難しいが、実績報告により、事業内容が補助の目的・趣旨に合致しているか確認し、効果を検証する。

(達成状況)

木直稻荷神社祭典における公演、その他公演依頼への出演、後継者育成活動のほか、定期練習の際に小・中学生への神楽指導を実施することにより、郷土芸能の伝承と後継者の育成に効果をあげている。  
また、ひろめ舟祭り等の地域行事への出演や、旧函館市地域からの公演依頼へも積極的に対応し、市民の一体感の形成と地域文化の振興に貢献している。

(参考) H24年度 会員数14名  
木直稻荷神社例大祭・祭典への出演 敬老会ボランティア出演ほか

※継続事業は、直近の実績 新規事業は効果のみ記載してください。

↓	(評価)	(理由)
	十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	→	(見直しの内容)
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続		積算基準の設定や類似団体の補助金統合について検討する。
<input type="checkbox"/> 廃止		(見直しの時期)
<input type="checkbox"/> その他		平成27年度
(廃止の理由)		(その他の内容)
(廃止の時期)		

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	安浦駒踊り保存会補助金	開 始 年 度	昭和38年度
----------------	-------------	------------	--------

団 体 名	安浦駒踊り保存会
-------	----------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	本団体は、旧町時代から無形民俗文化財に指定されている安浦駒踊りを保存・伝承する団体として、本地域を代表する郷土芸能を保持し、その公開や伝承活動などを行っている。 ※安浦駒踊り S53.2.28市指定無形民俗文化財
目 的	(目 的) 安浦駒踊りの公演等を通じて地域文化の振興発展や、後継者を育成し、郷土芸能の伝承に寄与すること
・ 効 果	(効 果) 小・中学生への指導および公演による後継者の育成や郷土芸能の伝承、地域文化の振興に貢献している。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収    入	21	64			54	18		136
	22	64			54	10		128
	23	64			30	13		107
	24	55			30	28		113
	25	55				30	26	111
支    出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑 費	予備費	計
	21		15	103		8		126
	22		10	99		6		115
	23		6	64		9		79
	24		10	67		10		87
25		15	90		6		111	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	安浦駒踊り保存会補助金
----------------	-------------

## ○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域行事での公演活動など、地域文化の振興発展、郷土芸能の伝承に努めている。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	旧南茅部町時代から、無形民俗文化財に指定されており、地域を代表する郷土芸能を伝承するために補助する必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	小・中学生への積極的な指導により、後継者の育成と会員の増に努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市が主体となって運営はできないため、補助金を支出し活動を支援している。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていないことから、事業内容や収支状況を精査するなかで、団体運営に支障を来さない範囲を見極め、積算基準の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input checked="" type="checkbox"/>	演舞道具の修繕費支出が見込みより少なかった場合に繰越金が生じるが、年間通して公演・練習があるほか、年々道具が老朽化しており、緊急的な更新・修繕に備えておく必要がある。
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	安浦駒踊り保存会補助金
----------------	-------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

本補助事業の効果は地域文化の振興や郷土芸能の伝承であるため, 効果の測定や具体的な数値を計上することは難しいが, 実績報告により, 事業内容が補助の目的・趣旨に合致しているか確認し, 効果を検証する。

(達成状況)

安浦稲荷神社祭典における公演, その他公演依頼への出演, 後継者育成活動のほか, 地域での保存伝承活動, 小・中学生への踊り指導など後継者の育成に効果をあげている。  
また, 全市的な行事への積極的に参加していくことにより市民全体の一体感の形成に貢献している。

(参考) H24年度 会員数10名  
安浦稲荷神社祭典出演 お盆イベント出演 縄文文化交流センター1周年記念式典出演

※継続事業は、直近の実績 新規事業は効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容)  積算基準の設定や類似団体の補助金統合について検討する。  (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	大船南部神楽保存会補助金	開 始 年 度	平成2年度
----------------	--------------	------------	-------

団 体 名	大船南部神楽保存会
-------	-----------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	本団体は、地域に伝承されていた神楽を復活させようと、その公開や伝承活動などを行っている。
目 的	(目 的) 大船南部神楽を伝承して新たな後継者の育成を図り、各種公演、慰問の実施により地域文化の振興に寄与すること
・ 効 果	(効 果) 小・中学生への神楽指導、定期練習を実施し、復活した地域の郷土芸能である当神楽の伝承と後継者を育成しているほか、ひろめ舟祭り等の地域行事への出演など地域文化の振興に貢献している。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収	21	58			48	15	437	558
	22	58			48	8	69	183
	23	58			48	4	94	204
入	24	50			48	1	30	129
	25	50			54	9	17	130
	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑 費	予備費	計
	21		25	497		27		549
支	22		44	95		40		179
	23		23	138		42		203
	24		26	68		26		120
出	25		30	80		20		130

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	大船南部神楽保存会補助金
----------------	--------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明	
1	公益性 (明確な公益性があるか)  ①広く市民生活の向上に貢献する事業  ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域行事での公演活動など、地域文化の振興発展、郷土芸能の伝承に努めている。	
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		地域に伝承されていた神楽を復活させようと精力的に活動しており、その公開や伝承活動等を支援する必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		小・中学生への積極的な指導により、後継者の育成と会員の増に努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市が主体となって運営はできないため、補助金を支出し活動を支援している。	

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていないことから、事業内容や収支状況を精査するなかで、団体運営に支障を来さない範囲を見極め、積算基準の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	大船南部神楽保存会補助金
----------------	--------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
本補助事業の効果は地域文化の振興や郷土芸能の伝承であるため, 効果の測定や具体的な数値を計上することは難しいが, 実績報告により, 事業内容が補助の目的・趣旨に合致しているか確認し, 効果を検証する。
(達成状況)
大船稲荷神社祭典における公演, その他公演依頼への出演, 後継者育成活動のほか, 小・中学生への神楽指導および定期練習を通じて, 復活した地域の郷土芸能である当神楽の伝承と後継者の育成に効果をあげている。 また, ひろめ舟祭り等の地域行事への出演や, 旧函館市地域からの公演依頼へも積極的に対応し, 市民全体の一体感の形成に貢献している。
(参考) H24年度 会員数16名 大船稲荷神社祭典出演 地域敬老会ボランティア出演

※継続事業は、直近の実績 新規事業は効果のみ記載してください。

(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/>	
一定の効果をあげている <input type="checkbox"/>	
効果が疑問である <input type="checkbox"/>	
その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容)
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(見直しの時期)	積算基準の設定や類似団体の補助金統合について検討する。
	平成27年度
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館港湾振興会補助金	開 始 年 度	昭和41年度
----------------	------------	------------	--------

団 体 名	函館港湾振興会
-------	---------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	函館港の振興発展のための各種調査, 情報交換, 要望活動, クルーズ客船歓迎行事への参加など。
目 的	(目 的) 函館港の紹介・宣伝, 諸調査研究, 海事関連行事への参加を遂行し, 港湾関係者の情報交換および連絡強調を図りながら, 港利用の改善と振興・発展を企画する。
・ 効 果	(効 果) 高い政策的効果が期待できると共に, 情報の入手, 連絡強調が図られ, 市行政の推進上非常に有効である。

## ○補助事業の収支状況

(単位: 千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	その他	計
		市	その他					
収    入	21	140			1,075	91	143	1,449
	22	140			1,015	10	148	1,313
	23	140			915	50	197	1,302
	24	140			915	106	122	1,283
	25	140			905	36	112	1,193
支    出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	予備費		計
	21		393	1,046		0		1,439
	22		265	998		0		1,263
	23		338	858		0		1,196
	24		377	870		0		1,247
25		323	860		10		1,193	

# 補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館港湾振興会補助金
----------------	------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか)  ①広く市民生活の向上に貢献する事業  ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	函館港の利用促進、振興発展を目的としており、物流・人流の活性化やクルーズ客船による観光客の誘致などに伴う経済効果を通じ、広く市民生活に貢献しているほか、港湾整備に関する要望活動等により、施設整備の促進につなげ、経済活動の活性化を図り、市民生活の向上を促している。また、公益性が高いことから、市が事務局となっている。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	函館港の関連事業者を統合する唯一の団体であり、港湾管理者である市としても積極的に関わっていく必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事業の見直しを図るとともに、経費の節減に努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	本事業は、港湾の振興に必要なものであり、継続的な事業実施のため、補助金による財政的な支援が最適であると考えます。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input checked="" type="checkbox"/>	既に事業費の節減を行なっているが、他の収入(会費等)に変動がないことから、必要最低限となっている。
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定められていないが、事業執行上、最低限必要な額を支援している。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input checked="" type="checkbox"/>	事務費の節減などにより、若干の繰越金は発生しているが、決算報告までの会の運営経費として、適正な範囲内と認識している。
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

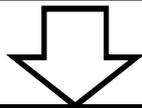
# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館港湾振興会補助金
----------------	------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会の開催 (年1回)</li> <li>・港湾要覧の作成, 配布等による広報活動</li> <li>・クルーズ客船歓迎行事への参加</li> <li>・要望活動, 関係会議への参加</li> </ul>
(達成状況)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会の開催 (5/15) ※会員数56名中, 委任も含め53名参加</li> <li>・港湾要覧の作成 (500部)</li> <li>・クルーズ客船歓迎行事への参加 (今年度10寄港中, 5回参加)</li> <li>・関連団体との合同トップセールスの実施 (9/27), 北海道港湾振興団体連合会総会への参加 (4/27)</li> </ul>

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 補助金交付先団体の収支状況を再確認し, 補助金の縮減に努めるとともに, 積算基準額を明確にする。 (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	海の日を祝う会補助金	開 始 年 度	平成8年度
----------------	------------	------------	-------

団 体 名	海の日を祝う会
-------	---------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	国民の祝日「海の日」を祝い、「海の日」記念式典を実施して、海事功労者への表彰を行うとともに、「海の日」の広報活動として、函館マリンフェスタを実施している。
目 的	(目 的) 国民が海の恩恵に感謝し、海洋国家日本の繁栄を願う「海の日」の祝日制定の趣旨を踏まえ、海事行事を遂行し、海事思想の普及・向上を図るとともに、地域の発展に寄与する。
・ 効果	(効 果) 高い政策効果が期待できるとともに、港湾関連団体との連絡、協調が図られ、市の行政を推進する上で非常に有効である。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収    入	21	100	200	0	1,090	9	3	1,402
	22	100	10	0	1,040	29	0	1,179
	23	100	10	0	960	42	0	1,112
	24	100	6	0	960	44	0	1,110
	25	100	10	0	950	5	0	1,065
支    出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	予備費		計
	21	0	131	1,242	0	0		1,373
	22	0	60	1,077	0	0		1,137
	23	0	123	945	0	0		1,068
	24	0	130	975	0	0		1,105
25	0	102	958	0	5		1,065	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	海の日を祝う会補助金
----------------	------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	「海の日」は、長年に及ぶ海事関係団体をはじめとした各層の働きかけにより制定された国民の祝日であり、当会は、祝日制定の趣旨を踏まえ事業を行うことを目的としているため、公益性があり、広く市民に対し、海への関心を高めている。また、公益性が高いことから、市が事務局となっている。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	「海の日」の記念式典において海事功労者を表彰しているほか、函館マリンフェスタの実施などを行っており、公益性、必要性が高い。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事業の見直しを図るとともに、経費の節減に努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	明確な公益性があり、また、市長が顧問として参画していることから、補助によることが最適であると考ええる。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input checked="" type="checkbox"/>	既に切り詰めた予算の中で事業を実施しており、特にイベントの実施などは、その枠内で最大の効果が得られるよう努めており、必要最低限の額となっている。
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定められていないが、事業執行上、必要最低限の額を補助している。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

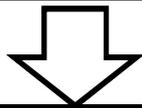
# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	海の日を祝う会補助金
----------------	------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
・「海の日」の記念式典で行われる海事功労者表彰は, 会員企業からの推薦により, 会で定める基準に従い会長表彰選考委員会で決定しているが, 特に表彰者数の定めはない。
・函館マリンフェスタには, 多くの市民が参加しており, 昨年は延べ約4, 200名の参加があった。
(達成状況)
・「海の日」の記念式典で行われる海事功労者表彰は, 毎年数十名が表彰されており, 平成24年度の表彰者は21名であった(式の参加者は83名)。
・函館マリンフェスタ2012については, 国や道, 民間の団体など14団体が10の事業を実施しており, 延べ約4, 200名の参加があった。

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/>	
一定の効果をあげている <input type="checkbox"/>	
効果が疑問である <input type="checkbox"/>	
その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	→ (見直しの内容) 補助金交付先団体の収支状況を再確認し, 補助金の縮減に努めるとともに, 積算基準額を明確にする。
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(見直しの時期) 平成27年度	(見直しの時期) 平成27年度
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館港湾福利厚生会館運営費補助金	開 始 年 度	昭和47年度
----------------	------------------	------------	--------

団 体 名	函館港湾福利厚生会館
-------	------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	港湾労働者を対象に福利厚生事業として宿泊、会議室、食堂、理容室を提供する。
目 的  ・ 効果	(目 的) 港湾労働者の福利厚生を増進することにより、厳しい環境の下で働く港湾労働者の就労意欲の増進や作業能率の向上を図ることにより、雇用の安定化と函館港の発展に寄与することを目的とする。
	(効 果) 宿泊等福利厚生施設の提供により、港湾労働者の確保と雇用の安定が図られ、函館港の発展に寄与する。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収    入	21	270	4,072	3,991	240	0	209	8,782
	22	270	4,145	3,951	204	0	228	8,798
	23	270	4,281	4,059	204	0	223	9,037
	24	200	4,412	3,776	204	0	203	8,795
	25	200	4,112	4,157	204	0	203	8,876
支    出	年 度	人件費	事務費	事業費				計
	21	5,623		3,159				8,782
	22	5,681		3,117				8,798
	23	5,694		3,343				9,037
	24	5,793		3,002				8,795
	25	5,793		3,083				8,876

# 補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館港湾福利厚生会館運営費補助金
----------------	------------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	主に港湾労働者の福利厚生増進と港湾関係の雇用の安定化を図ることを目的としており、公益性がある。また、港湾労働者に限らず利用が可能であり、市民生活の向上に貢献する事業である。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	函館港における港湾労働者確保の一環として、福利厚生を図るもので、港湾管理者である市として、積極的に関わっていく必要がある。また、市が見直しを行い廃止した海員水産会館の代替的な施設であることから、公益性・必要性ともに高い事業である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施設の適正な運営により、利用の拡大に努めるとともに、経常経費の節減を図っている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	本事業は、港湾の振興に必要なものであり、継続的な事業実施のため、補助金による財政的な支援が最適であると考えている。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定められていないが、事業執行上、必要最低限の額を補助している。 なお、平成24年度には事業費を精査し、補助金の減額を行っている。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館港湾福利厚生会館運営費補助金
----------------	------------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

- ・前年度の施設利用者数を基準として効果を測定する。

(平成23年度利用者数)

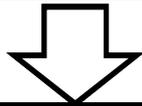
- ・宿泊室 382人
- ・会議室 504人
- ・理容室 575人
- ・食堂 2,756人 (現在休止中)

(達成状況)

(平成24年度利用者数)

- ・宿泊室 359人
- ・会議室 528人
- ・理容室 522人

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。



<p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>十分効果をあげている <input type="checkbox"/></li> <li>一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/></li> <li>効果が疑問である <input type="checkbox"/></li> <li>その他 <input type="checkbox"/></li> </ul>	<p>(理由)</p> <p>利用者数については、例年と同水準にあり、一定の効果はあがっているものとする。</p>
---	---

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	<p>(見直しの内容)</p> <p>平成24年度に見直しをした補助金であるが、補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。</p> <p>(見直しの時期)</p> <p>平成27年度</p>
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	

<p>(廃止の理由)</p> <p>(廃止の時期)</p>	<p>(その他の内容)</p>
-------------------------------	-----------------

## ○終期の設定

<p>終期設定</p> <p>平成27年度</p>	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	<p>次回チェック年度(予定)</p> <p>平成27年度</p>
---------------------------	---	-----------------------------------

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	日本競輪選手会北海道支部補助金	開始 年 度	昭和28年度
----------------	-----------------	-----------	--------

団 体 名	一般社団法人 日本競輪選手会北海道支部
-------	---------------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・函館競輪開催指導員の養成</li> <li>・国体強化合宿, インターハイ予選会合宿等における指導・教育</li> <li>・国体等アマチュア競技会への競技役員等の派遣</li> <li>・特別教養訓練, 自主訓練, 合宿訓練</li> <li>・記録会, 研修会</li> <li>・各種競技大会への選手の派遣</li> </ul>
目 的	<p>(目 的)</p> <p>国体・インターハイ等の北海道代表選手を指導・教育するとともに, 支部に所属する選手の競技技術および資質の向上を図る活動を行い, もって競輪の公正安全な運営ならびに自転車競技の普及および振興に寄与することを目的とする。</p>
・ 効果	<p>(効 果)</p> <p>国体・インターハイ等の北海道代表選手の育成と強化および競技力向上を図ったことにより, 北海道からオリンピック日本代表の輩出や競輪学校への入学者が出るなど, 自転車競技の普及振興に寄与している。また, プロ競技者としての意識の高揚に努め, 日常訓練・特別訓練・新人選手育成等を着実にを行い, 競輪事業の健全な発展と運営に寄与したことにより, 売上の確保, ひいては公共の福祉へ貢献している。</p>

## ○補助事業の収支状況

(単位: 千円)

	年 度	助 成 金		会 費	雑収入	繰越金		計
		市	その他					
収	21	1,350	140	8,225	3,032	21		12,768
	22	1,350	149	8,177	2,040	1,261		12,977
	23	1,350		6,552	1,695	4		9,601
入	24	1,350		6,111	1,603	6		9,070
	25	1,350		5,138	1,515	5		8,008
支	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑 費		計
	21	4,068	664	4,522	935	1,318		11,507
出	22	4,368	730	6,214	719	942		12,973
	23	4,512	992	2,097	662	1,332		9,595
	24	4,332	860	2,050	616	1,207		9,065
	25	4,272	700	1,334	598	1,104		8,008

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	日本競輪選手会北海道支部補助金
----------------	-----------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	国体・インターハイ等の北海道代表選手の育成と強化および競技力向上を図り、自転車競技の普及振興に寄与している。競輪選手の競技技術および資質の向上を図り、競輪の公正かつ円滑な運営に寄与することが目的であり、特に地元選手の活躍は集客に大きく影響を及ぼし売上に直結することから、公共の福祉への貢献にもつながっている。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	当該団体は、国体等の北海道代表選手の育成等を図り、自転車競技の普及振興に寄与しているとともに、本市競輪運営の円滑を図るため、大きな役割を担っており、その活動は売上に直結することから、公共の福祉への貢献にもつながる。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	収益事業として売店収入の強化等努力をしている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	アマチュア選手の指導・教育をするとともに、競輪事業の健全な発展と運営を円滑にし、自転車競技の普及・振興に寄与していることから補助することが最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input checked="" type="checkbox"/>	積算については、一定程度見直すなどしてきたところであるが、結果的に前年踏襲となった。今後においても、補助対象経費の内容を精査し、補助金額が適正となっているかを検証していく。
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準については、運営費補助金であるとともに補助割合についても1/2以内であったことから特に定めていなかった。今後においては、補助対象経費の内容精査とあわせ要綱等の整備を進めていく。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	自主財源である会費が年々減少し、市からの補助金の割合が大きくなってきていることから、事業内容の見直しを行うよう指導する。
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金 チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	日本競輪選手会北海道支部補助金
----------------	-----------------

## ○補助効果の検証

<p>(効果測定方法, 具体的な数値等)</p> <p>当該団体の主な収入は、本部からの交付金(約67%), 市補助金(約15%), 売店収入(約11%)他であるが、登録選手数で配分される交付金が選手数の減により年々減少傾向(所属選手数 H23: 55名→H24: 54名→H25: 47名)にある。国体・インターハイ等の北海道代表選手の育成と強化および競技力向上を図り、自転車競技の普及振興に寄与している。競輪選手の競技技術および資質の向上を図り、競輪の公正かつ円滑な運営に寄与することが目的であり、特に地元選手の活躍は集客に大きく影響を及ぼし売上に直結することから、公共の福祉への貢献にもつながっている。</p>
<p>(達成状況)</p> <p>国体・インターハイ等の北海道代表選手の育成と強化および競技力向上を図ったことにより、北海道からオリンピック日本代表の輩出や競輪学校への入学者が出るなど自転車競技の普及振興に寄与している。また、プロ競技者としての意識の高揚に努め、日常訓練・特別訓練・新人選手育成等を着実にを行い、全日本プロ選手権・北日本地区プロ競技大会に参加し、競輪事業の健全な発展と運営に寄与したことにより、売上の確保、ひいては公共の福祉へ貢献している。</p>

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。



<p>(評価)</p> <p>十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>一定の効果をあげている <input type="checkbox"/></p> <p>効果が疑問である <input type="checkbox"/></p> <p>その他 <input type="checkbox"/></p>	<p>(理由)</p>
--	-------------

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	<p>(見直しの内容)</p> <p>補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。</p> <p>(見直しの時期)</p> <p>平成27年度</p>
<p>(廃止の理由)</p> <p>(廃止の時期)</p>	<p>(その他の内容)</p>

## ○終期の設定

<p>終期設定</p> <p>平成27年度</p>	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	<p>次回チェック年度(予定)</p> <p>平成27年度</p>
---------------------------	---	-----------------------------------

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	箱館五稜郭祭開催補助金	開 始 年 度	昭和47年度
----------------	-------------	------------	--------

団 体 名	箱館五稜郭祭協賛会
-------	-----------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	箱館戦争（戊辰戦争己巳の役）をモチーフとして当時を再現する歴史祭り。中島三郎助父子最後の地碑や碧血碑などでの碑前祭をはじめ、土方歳三コンテスト全国大会や、維新行列および五稜郭公園内での開城セレモニーなどを開催。
目 的	（目 的） 本市の毎年の観光シーズンの幕開けを告げるイベントで、貴重な歴史的遺産である特別史跡五稜郭跡を広くPRし、幕末の史実の認識を深めるために開催され、観光振興に寄与するため。
・ 効 果	（効 果） 箱館戦争当時を再現する維新行列など特色ある行事を実施することにより、観光客誘致に貢献している。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		協賛金	雑収入	繰越金		計
		市	その他					
収    入	21	2,800		5,175	369	118		8,462
	22	2,800		5,727	422	99		9,048
	23	2,800		5,537	269	93		8,699
	24	2,800		5,213	390	102		8,505
	25	2,700		5,400	308	92		8,500
支    出	年 度	事務費	事業費	予備費				計
	21	1,014	7,348					8,362
	22	927	8,028					8,955
	23	936	7,661					8,597
	24	398	8,015					8,413
	25	570	7,880	50				8,500

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	箱館五稜郭祭開催補助金
----------------	-------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	箱館戦争(戊辰戦争己巳の役) 当時を再現する維新行列などを実施することにより、本市の貴重な歴史的遺産である特別史跡・五稜郭跡を広くPRし、観光客誘致に貢献するとともに、多くの市民も観客として訪れるなど、函館の春を告げるイベントとして内外に知られている。
2	必要性(補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	観光客の祭に対する関心は年々高まっており、観光振興および五稜郭エリアの地域活性化のために必要不可欠である。
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	平成12年度には「函館市まちづくり活動ランクアップ支援事業」からも補助金を受けるなど、一定の自助努力が見られる。
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	幕末の歴史をPRし、五稜郭の全国的な知名度をさらに高めていくためには円滑な事業運営が肝要であり、観光客誘致に係る機運の高まりを削がないためにも、補助金の支出が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準が定められていないことから、今後、支出根拠、積算基準について検討していく。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

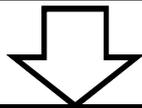
# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	箱館五稜郭祭開催補助金
----------------	-------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
実行委員会において観客数等をカウントしている。
(達成状況)
直近3ヶ年における観客数等は以下のとおり。 H25年度：関係者1,100人, 観客110,000人 H24年度：関係者1,100人, 観客110,000人 H23年度：関係者1,100人, 観客110,000人

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input type="checkbox"/>	市経済界・観光業界が一致協力して、GWの桜観光に続く函館の春のイベントとして、毎年多くの見物客・観光客を誘致するまでに成長させてきており、今後もより知名度を高め多くの誘客の可能性はある。
一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/>	
効果が疑問である <input type="checkbox"/>	
その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 平成25年度に見直しをした補助金であるが、まつりの収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。 (見直しの時期) 平成27年度 (その他の内容)
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(廃止の理由)	
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	湯の川温泉花火大会開催補助金	開 始 年 度	昭和48年度
----------------	----------------	------------	--------

団 体 名	湯の川温泉花火大会実行委員会
-------	----------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	湯の川温泉の泉源場で採湯し、温泉みこしに納め、湯の川温泉街から湯倉神社まで練り歩き奉納する「献湯みこし」や、松倉川での灯籠流しのほか、花火大会を実施。
目 的	(目 的) 「湯の川温泉」のPRと観光客誘致のため。
・ 効 果	(効 果) 本市の夏の終わりを飾るイベントとして定着し、観光客誘致に貢献している。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		協賛金	雑収入	繰越金		計
		市	その他					
収    入	21	1,500	1,500	7,620	1			10,621
	22	1,500	1,500	7,262	1	14		10,277
	23	1,500	1,500	7,207	1	38		10,246
	24	1,500	1,500	7,117	1	198		10,316
	25	1,500	2,745	7,295	1	23		11,564
支    出	年 度	事務費	事業費	雑費	予備費			計
	21	282	9,955	370				10,607
	22	281	9,629	329				10,239
	23	243	9,547	258				10,048
	24	223	9,795	274				10,292
25	298	10,896	370				11,564	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	湯の川温泉花火大会開催補助金
----------------	----------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	昭和41年から開催され(助成は昭和48年から)、夏の終わりを飾るイベントとして市民に定着している。 ※平成24年3月29日にイベント名称を「湯の川温泉いさり火まつり」から「湯の川温泉花火大会」に変更。
2	必要性(補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	湯の川温泉エリアのPRと観光客誘致に大きく貢献しているイベントであり、夏季の誘客のために補助は必要不可欠である。
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	平成12年度には「函館市まちづくり活動ランクアップ支援事業」からも補助金を受けるなど、一定の自助努力が見られる。
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	湯の川温泉の全国的な知名度をさらに高めていくためには円滑な事業運営が肝要であり、観光客誘致に係る機運の高まりを削がないためにも、補助金の支出が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲とっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準が定められていないことから、今後、支出根拠、積算基準について検討していく。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

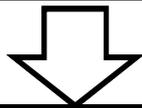
# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	湯の川温泉花火大会開催補助金
----------------	----------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
実行委員会において観客数等をカウントしている。
(達成状況)
直近3ヶ年における観客数等は以下のとおり。 H24年度：関係者400人, 観客50,000人 H23年度：関係者400人, 観客48,000人 H22年度：関係者400人, 観客65,000人

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	旅館数が減少気味である湯の川温泉エリアで同花火大会を開催することにより, 賑わいを創出し, 温泉街の活性化の一助となっている。

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容) イベントの収支状況を再確認し, 補助金の縮減に努めるとともに, 積算基準額を明確にする。 (見直しの時期) 平成27年度
(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容)

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
平成27年度		平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	はこだて冬のイベント開催補助金	開 始 年 度	昭和60年度
----------------	-----------------	------------	--------

団 体 名	はこだて冬フェスティバル実行委員会
-------	-------------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	西部地区の景観を生かしたイルミネーションを長期間にわたり施すほか、参加型イベント「光の小径」の実施など、「光の街はこだて」としての環境演出を図る。
目 的	(目 的) 冬季観光の振興および滞在型観光の促進
・ 効 果	(効 果) 全国的に知名度が高く、集客力のあるはこだてクリスマスファンタジーに続く、新たな冬季イベントとして実施することにより、冬季観光および通年観光の振興に資する。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		協賛金	広告料	雑収入	繰越金	計
		市	その他					
収     入	21	6,000	1,000	5,035	2,770	2	169	14,976
	22	6,000	1,000	5,225	2,500	13	147	14,885
	23	6,000		5,065	2,720	9	148	13,942
	24	6,000		5,155	2,450	7	388	14,000
	25	5,900		5,255	2,538	7		13,700
支     出	年 度	宣伝費	事業費	総務費				計
	21	961	13,282	586				14,829
	22	1,180	12,942	615				14,737
	23	1,017	11,958	579				13,554
	24	1,049	12,059	592				13,700
25	1,049	12,059	592				13,700	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	はこだて冬のイベント開催補助金
----------------	-----------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	昭和60年開始の「はこだて冬フェスティバル」と平成9年開始の「はこだてイルミネーション」を平成18年度から一本化して行っているもので、滞在型観光を促進するとともに、市民の知名度・内容に対する期待が高いイベントである。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	毎年12月に開催される「はこだてクリスマスファンタジー」に続く、当市の冬季および通年観光の振興に必要不可欠なイベントである。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	イベント内容の見直し等を行っている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	冬のイベントの充実による冬季観光振興の必要性が叫ばれている中で、観光客誘致に係る機運の高まりを削がないためにも、補助金の支出が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準が定められていないことから、今後、支出根拠、積算基準について検討していく。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

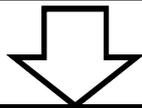
# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	はこだて冬のイベント開催補助金
----------------	-----------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)	
具体的な数値等を示すことは難しいが, 来函観光入込客数推計より冬季観光客誘致の一因となっていると考えられる。	
(達成状況)	
(来函観光入込客数推計 (単位:千人))	H24年度: 12月 233.8, 1月 136.5, 2月 158.3 H23年度: 12月 233.5, 1月 138.6, 2月 156.7 H22年度: 12月 239.0, 1月 147.7, 2月 173.5 H21年度: 12月 228.1, 1月 130.8, 2月 154.7)

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	観光アンケート調査における観光客の平均消費額をもとに算出すると, 当該イベントには冬季観光に対し相応の経済効果があると言える。(以下, 人数×平均消費額) H24年12月～H25年2月: 15,329,928千円 H23年12月～H24年2月: 16,393,857千円 H22年12月～H23年2月: 18,058,047千円 H21年12月～H22年2月: 15,353,558千円

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 平成25年度に見直しをした補助金であるが, イベントの収支状況を再確認し, 補助金の縮減に努めるとともに, 積算基準額を明確にする。 (見直しの時期) 平成27年度 (その他の内容)
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(廃止の理由)	
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	はこだてクリスマスファンタジー開催補助金	開 始 年 度	平成10年度
----------------	----------------------	------------	--------

団 体 名	はこだてクリスマスファンタジー実行委員会
-------	----------------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	姉妹都市カナダ・ハリファックス市から寄贈されたもみの木を、約5万個のイルミネーションで飾り、函館を代表する観光スポットの一つの赤レンガ倉庫群前の会場に浮かべ、大きなクリスマスツリーとするイベントで、毎日の点灯式や花火の打上など各種イベントを実施。
目 的	(目 的) 冬季観光の振興と国際交流の促進のため。
・ 効 果	(効 果) 旅行代理店からイベント内容の問合せが相次いでおり、イベント実施初年度からツアー企画に盛り込まれるなど反響は大きく、冬の函館のイメージアップとともに観光客の誘致に寄与している。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		協賛金	事業収入	雑収入	繰越金	計
		市	その他					
収     入	21	16,000		14,040	16,200	200	113	46,553
	22	16,000		14,075	16,868		63	47,006
	23	16,000		12,865	15,422		315	44,602
	24	16,000		12,660	17,788		1,702	48,150
	25	15,800		12,400	16,260		3,829	48,289
支     出	年 度	事務費	事業費	予備費				計
	21	1,301	45,189					46,490
	22	1,214	45,477					46,691
	23	1,168	41,732					42,900
	24	1,075	43,246					44,321
	25	1,210	47,079					48,289

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	はこだてクリスマスファンタジー開催補助金
----------------	----------------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明	
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	平成10年から開催されており、函館の冬のイベントとして市民の知名度・内容の充実に対する期待が高いイベントである。	
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		例年、旅行代理店からの問合せが相次いでおり、ツアー企画に盛り込まれるなど反響は大きく、当市の冬季観光の振興および姉妹都市であるハリファックス市との国際交流の促進のために必要不可欠なイベントである。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		イベント内容の見直し等を行っている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	冬のイベントの充実による冬季観光振興の必要性が叫ばれている中で、観光客誘致に係る機運の高まりを削がないためにも、補助金の支出が最適である。	

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準が定められていないことから、今後、支出根拠、積算基準について検討していく。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	はこだてクリスマスファンタジー開催補助金
----------------	----------------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

具体的な数値等を示すことは難しいが, 来函観光入込客数推計より冬季観光客誘致の一因となっていると考えられる。

(達成状況)

(来函観光入込客数推計 (単位:千人))

H24年度 : 12月	233.8
H23年度 : 12月	233.5
H22年度 : 12月	239.0
H21年度 : 12月	228.1

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input type="checkbox"/>	観光アンケート調査における観光客の平均消費額をもとに算出すると, 当該イベントには冬季観光に対し相応の経済効果があると言える。(以下, 人数×平均消費額) H24年12月 : 6,780,433千円 H23年12月 : 7,238,967千円 H22年12月 : 7,704,165千円 H21年12月 : 6,818,821千円
一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/>	
効果が疑問である <input type="checkbox"/>	
その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 平成25年度に見直しをした補助金であるが, イベントの収支状況を再確認し, 補助金の縮減に努めるとともに, 積算基準額を明確にする。 (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	

(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
平成27年度		平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館港イルミネーション映画祭開催補助金	開始 年度	平成12年度
----------------	---------------------	----------	--------

団体名	函館港イルミネーション映画祭実行委員会
-----	---------------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	函館山山頂クレモナホールほか西部地区で映画祭を開催するとともに、シナリオ大賞を募集しグランプリ（函館市長賞）などを選出する。
目 的	(目 的) 映画祭を通して函館の街の活性化を図り、新しい才能を発掘する場である。また、映画の街として新たな魅力を引き出し、函館の街が持つ映像的環境・風土を無形の文化的・観光的資源として地域の活性化を図る。
・ 効果	(効 果) 映画祭の開催により、当市の「映画や映像制作に意欲的に取り組むまち」としての認識や、シナリオ大賞のテーマが「函館」であることから、当市のロケ地としてのイメージが高められ、映画やテレビ等のロケの誘致に寄与する。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		入場料収入 ・手数料	会費等	協賛金・ 広告料		計
		市	その他					
収     入	21	4,000	3,000	1,115	818	1,265		10,198
	22	4,000	1,100	1,141	1,076	1,785		9,102
	23	4,000	1,100	1,248	570	2,155		9,073
	24	2,000	1,000	1,072	517	2,305		6,894
	25	2,000	1,200	1,485	960	1,730		7,375
支     出	年 度	事務費	事業費					計
	21	600	9,598					10,198
	22	632	8,470					9,102
	23	538	8,535					9,073
	24	552	6,342					6,894
	25	500	6,875					7,375

# 補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館港イルミネーション映画祭開催補助金
----------------	---------------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	本事業は、映画祭を通して函館の街の活性化を図り、新しい才能を発掘する場である。また、映画の街として新たな魅力を引き出し、函館の街が持つ映像的環境・風土を無形の文化的・観光資源として地域の活性化を図ることを目的としている。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	当映画祭は、市民が良質なメディア芸術に接する機会を与え、メディア芸術の振興に貢献しているとともに、全国から多数の応募があるシナリオ大賞受賞作からは、今までに10作品が映画化されており、独創的な市民文化活動として全国的に高い評価を得、本市の芸術文化の発展や観光振興に大きく寄与している。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	入場料収入、実行委員の会員収入の他、映画サポーターズの新設による収入増、ボランティアスタッフを活用した経費削減等、自主自立の努力をしている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市民が自主的に実行委員会を組織し運営しているものであり (市は参画していない)、補助金として支出することが妥当である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準が定められていないことから、今後、支出根拠、積算基準について検討していく。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館港イルミネーション映画祭開催補助金
----------------	---------------------

## ○補助効果の検証

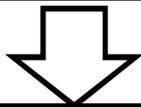
(効果測定方法, 具体的な数値等)

<シナリオ大賞応募数>  
 H21: 306件 H22: 225件 H23: 177件 H24: 94件  
 <映画祭入場者数>  
 H21: 2,570人 H22: 2,104人 H23: 1,966人 H24: 2,282人

(達成状況)

・シナリオ大賞受賞作で映画化になった作品: 10作品 ※このほか製作準備中2作品あり

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input type="checkbox"/>	シナリオ大賞受賞作で映画化になった作品の中には、当市でロケが行われた作品もあり、映画のロケ誘致に寄与している。 (参考) H16年度に賞金300万円のシナリオ大賞グランプリ「函館市長賞」が設置されたが、H24年度より賞金を100万円に減額した。
一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/>	
効果が疑問である <input type="checkbox"/>	
その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 平成24年度に見直しをした補助金であるが、イベントの収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。 (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	

(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
平成27年度		平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	五稜星の夢開催補助金	開 始 年 度	平成12年度
----------------	------------	------------	--------

団 体 名	五稜星の夢実行委員会
-------	------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	特別史跡五稜郭跡の堀の周囲1.8kmを約2000個の電飾で飾り、公園内の藤棚やツツジ、道道五稜郭公園線の樹木にもイルミネーションを施すなど、五稜郭を地上に降りた巨大な星として浮かび上がらせるイベント。
目 的	(目 的) 地域の活性化のみならず、冬季観光振興にも多大な貢献があるものと認められるため。
・ 効 果	(効 果) 特別史跡五稜郭跡の堀を電飾するという函館ならではの特色ある行事を実施することにより、冬季の観光客誘致に貢献している。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		協賛金	募金	繰越金		計	
		市	その他						
収     入	21	1,000		1,380	3,554			5,934	
	22	1,000		1,550	3,032			5,582	
	23	1,000		1,640	2,534			5,174	
	24						66		66
	25	1,000		1,640	2,534		66		5,240
支     出	年 度	工事費	電気料	宣伝費	事務費			計	
	21	4,010	807	200	917			5,934	
	22	3,759	623	157	1,043			5,582	
	23	3,016	451	414	1,227			5,108	
	24								0
25	3,016	583	414	1,227				5,240	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	五稜星の夢開催補助金
----------------	------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	平成元年から開催されており、市民参加による五稜郭エリアの活性化につながるイベントとして、市民の知名度・内容の充実に対する期待が高いイベントである。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	特別史跡五稜郭跡の堀を電飾するという函館ならではの特色ある行事を実施することにより、当市の冬季観光の振興に資する、必要不可欠なイベントである。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	イベント内容の見直し等を行っている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	冬のイベントの充実による冬季観光振興の必要性が叫ばれている中で、観光客誘致に係る機運の高まりを削がないためにも、補助金の支出が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準が定められていないことから、今後、支出根拠、積算基準について検討していく。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	五稜星の夢開催補助金
----------------	------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

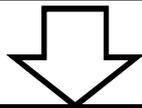
具体的な数値等を示すことは難しいが, 来函観光入込客数推計より冬季観光客誘致の一因となっていると考えられる。

(達成状況)

(来函観光入込客数推計 (単位:千人))

H24年度	12月	233.8	1月	136.5	2月	158.3
H23年度	12月	233.5	1月	138.6	2月	156.7
H22年度	12月	239.0	1月	147.7	2月	173.5
H21年度	12月	228.1	1月	130.8	2月	154.7

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	市民ボランティアの努力により, 函館の冬のイベントとして旅行代理店のパンフレット等に掲載されるまでに成長しており, 今後もより知名度を高め多くの誘客の可能性はある。

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/>	現行のまま補助を継続	(見直しの内容)  イベントの収支状況を再確認し, 補助金の縮減に努めるとともに, 積算基準額を明確にする。  (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/>	見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	その他	
(廃止の理由)  (廃止の時期)		(その他の内容)

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
平成27年度		平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート(No.1)

補助金名 (交付金名)	恵山ごっこまつり開催補助金	開始 年 度	平成2年度
----------------	---------------	-----------	-------

団 体 名	恵山ごっこまつり実行委員会
-------	---------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	イベント ・海鮮特産品即売会
目 的	(目 的) 恵山地域を代表する魚「ごっこ」を広くPRし、主に地域内でしか消費されていなかった「ごっこ」の販路拡大および冬期間の観光客誘致を促し、地域の活性化に寄与する。
・ 効果	(効 果) 冬期間は減少する観光客を誘致し、地域の活性化と発展に寄与している。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金		計
		市	その他					
収    入	21	300		608		1		909
	22	300		468		1		769
	23	300		278		1		579
	24	300		400		1		701
	25	300		380		1		681
	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
支    出	21			908				908
	22			768				768
	23			578				578
	24			700				700
	25			680				680

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	恵山ごっこまつり開催補助金
----------------	---------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	恵山地域を代表する「ごっこ」を広くPRし販路の拡大、冬期間の観光客誘致により、地域の活性化に貢献している。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域活性化の減退が抑制される。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自主財源確保に努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事業の性質的に市が委託にて行うものではないため現在の方法が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input checked="" type="checkbox"/>	過去の実績積算、見積り依頼をしている。今後は積算内訳書を明確化する。
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていない。今後は積算基準を策定する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No. 3)

補助金名 (交付金名)	恵山ごっこまつり開催補助金
----------------	---------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

○測定方法 駐車車両台数にてカウント

- ・駐車車両台数 道の駅駐車場と, 臨時駐車場にセンサーを設置し車両台数を測定し, 1台につき乗車割合(道の駅レジカウント数/道の駅駐車場台数)を乗じてカウント。

○具体的な目標値 1, 500人(前年度実績ベース)

(達成状況)

平成24年度実	平成23年度実
・来場者数 1, 727人	・来場者数 1, 594人

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	PR活動による販路拡大や冬期間の観光客誘致により, 地域活性化に一定の効果をあげている。

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容) まつりの収支状況を再確認し, 補助金の縮減に努めるとともに, 積算基準額を明確にする。
	(見直しの時期) 平成27年度
(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容)

## ○終期の設定

終期設定 平成27年度	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定) 平成27年度
----------------	---	------------------------

# 補助金・交付金チェックシート(No.1)

補助金名 (交付金名)	北海道立函館美術館特別展開催補助金	開始 年 度	昭和61年度
----------------	-------------------	-----------	--------

団 体 名	北海道立函館美術館特別展実行委員会
-------	-------------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	北海道立函館美術館は、昭和61年の開館以来、毎年特別展を開催し、国内外の優れた芸術作品を鑑賞できる機会を市民に提供している。
目 的	(目 的) 同美術館の特別展の開催は、本市の文化芸術の振興・発展に大きく寄与するものであり、美術館活動の円滑化が図られる。
・ 効果	(効 果) 美術館の誘致は市民の長年の念願であり、昭和61年度の開館当時から市民の関心は高く、特別展開催を通じて、市民の美術および美術館に対する理解と関心を深めることができ、文化芸術の振興に寄与している。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収    入	21	2,000	6,000	6,139			1,529	15,668
	22	2,000	9,574	8,901			5,455	25,930
	23	1,500	6,000	11,843			5,029	24,372
	24	1,500	4,500	9,528			3,194	18,722
	25	1,500	6,000	8,280			3,120	18,900
	支    出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等		
21		483	409	14,776				15,668
22		429	415	25,086				25,930
23		471	324	23,577				24,372
24		523	3,652	14,547				18,722
25		500	575	17,825				18,900

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	北海道立函館美術館特別展開催補助金
----------------	-------------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか)  ①広く市民生活の向上に貢献する事業  ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	道立函館美術館は、市の重要な文化振興施設であり、市民に作品鑑賞の機会を提供するだけでなく、子どもから高齢者まで自ら学ぶ意欲を育成する場である。特別展の開催は、市の文化芸術の一層の振興・発展に大きく貢献し、市民の潤いのある心豊かな生活に寄与するものである。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市の施設では難しい国内外の優れた芸術作品の展覧会の開催は、文化芸術の一層の振興につながるものであり、補助する必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事業実施にあたっては、新聞やポスター等の宣伝活動に力を入れ、観覧料や物販収入の確保に努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事業の性質上、市が主体となって開催することはできないため、現在の方法が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていないことから、事業内容や収支状況を精査するなかで、事業に支障を来さない範囲を見極め、積算基準の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	その年々の特別展により観覧者数の増減があるが、観覧者数の状況により会期中であっても追加で広告・宣伝を行っており、今後もこうした収支向上の取り組みをお願いしていく。
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	北海道立函館美術館特別展開催補助金
----------------	-------------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)	
○観覧者数により効果を測定する。	
(達成状況)	
○達成状況：〔平成24年度〕	棟方志功展 9月15日～11月7日 (開館日数：47日間) 観覧者数 [見込] 13,000人 [実績] 12,462人
〔平成23年度〕	平山郁夫展 4月2日～5月22日 (開館日数：44日間) 観覧者数 [見込] 13,000人 [実績] 16,017人

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容)
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(見直しの時期)	平成27年度
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	平成27年度

# 補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	市民創作「函館野外劇」開催補助金	開始 年 度	昭和63年度
団 体 名	特定非営利活動法人市民創作「函館野外劇」の会		
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則		

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	特別史跡「五稜郭跡」のロケーションを活かし、様々な演出効果を駆使して函館の歴史と文化を伝える創作野外劇の公演を毎年7月～8月の週末に行っている。 スタッフ・キャストは市民ボランティアであり、事業の運営・実施についても、野外劇の会を中心に市民ボランティアが主体となって行っている。
目 的	(目 的) 当市の歴史をもとにした「野外劇」の公演により、地域独自の芸術文化の創造や、生涯学習とまちづくりの推進を図る。
・ 効 果	(効 果) 市民創作による野外劇は、地域独自の文化芸術活動であり、地域の歴史や文化を学ぶ生涯学習の場や、ふるさとの歴史を伝承するボランティア活動の体験の場として貴重な役割を担うものであり、また、五稜郭の素晴らしいロケーションで開催される国内最大規模の野外劇は、函館の夏の一大イベントとして、まちづくりの推進に寄与する観光資源となっている。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	協賛金	雑収入	計
		市	その他					
収    入	21	10,000	600	18,218	2,309	7,290	1,683	40,100
	22	10,000	1,000	17,547	1,302	7,718	1,307	38,874
	23	10,000	0	14,421	2,146	7,571	1,953	36,091
	24	10,000	500	14,839	1,852	7,597	1,813	36,601
	25	8,000	1,380	15,000	0	7,700	2,000	34,080
支    出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21			40,100				40,100
	22			38,874				38,874
	23			36,091				36,091
	24			36,601				36,601
25			34,080				34,080	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	市民創作「函館野外劇」開催補助金
----------------	------------------

## ○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	函館野外劇は、国内では最大規模の野外劇として、多くの市民が参加するほか、学校単位で学生が出演するなど歴史を学ぶ生涯学習の場としての役割を担っており、函館市にとっての夏の一大イベントとして広く定着し、市民生活および地域文化の向上に貢献している。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	函館市が誇る国内最大規模の野外劇であり、延べ5,000人の市民が参加する地域独自の芸術文化活動であることから、開催にあたって補助する必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市外への営業活動や旅行会社の商品企画など積極的に販促活動を行い、観劇料・賛助金の確保や経費削減の自助努力に努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市民創作の野外劇であり、事業の性質上、市が主体となって開催することはできないため、現在の方法が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていないことから、事業内容や収支状況を精査するなかで、事業に支障を来さない範囲を見極め、積算基準の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	市民創作「函館野外劇」開催補助金
----------------	------------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法、具体的な数値等)

観劇者数および、ボランティア参加者数により効果を測定する。

---

(達成状況)

- 平成24年度  
観劇者数 8,403人      ボランティア参加者数 延べ5,000人      [公演日数: 12日間]
- 平成23年度 【参考】  
観劇者数 8,040人      ボランティア参加者数 延べ5,500人      [公演日数: 10日間]  
(平成24年度観劇者数は平成23年度の約5%増)

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 平成25年度に見直しをした補助金であるが、補助団体に対しては、市民創作である「函館野外劇」本来の意義を踏まえうえて、経費削減や収入増への対策を要請しており、引き続き補助金の縮減に向けた見直しを図っていく。 (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	

(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館ハーフマラソン大会開催補助金	開始 年 度	平成3年度
----------------	------------------	-----------	-------

団 体 名	函館ハーフマラソン大会実行委員会
-------	------------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	函館ハーフマラソン大会実行委員会が主催するハーフマラソン大会およびコミュニティランニングの開催
目 的	(目 的) 本市のスポーツの振興や市民の体力増進, 健康の維持に貢献するため
・ 効 果	(効 果) 道南最大のスポーツイベントの一つとして, 本市のスポーツ振興や市民の健康増進が図られるほか, 定員を大幅に拡大することで, 地域経済の活性化にも寄与している。

## ○補助事業の収支状況

(単位: 千円)

	年 度	助 成 金		参加料	協賛金	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収     入	21	18,000	600	7,661	4,639	3,798	38	34,736
	22	18,000	600	7,915	4,846	2,914	21	34,296
	23	18,000	600	8,091	4,945	1,108	2	32,746
	24	17,000	600	14,539	7,734	973	2	40,848
	25	17,000	600	15,892	5,390	1,229	4	40,115
支     出	年 度	招待選手経費 (H25~大会運営費)	交通規制経費	警備経費	競技関係経費	運営経費 (H25~事務局費)	次年度繰越金 (H25は予備費)	計
	21	2,980	7,652	4,648	9,899	6,643	2,914	34,736
	22	3,354	7,643	4,800	10,622	6,769	1,108	34,296
	23	2,314	7,645	4,949	10,061	6,803	974	32,746
	24	1,157	8,677	5,478	14,610	9,697	1,229	40,848
25	23,293	14,267				2,255	300	40,115

# 補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館ハーフマラソン大会開催補助金
----------------	------------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10代から80代まで多数の市民が参加し、参加希望は年々増加傾向にあるほか、コース沿道で応援する市民も多く、市民の健康維持や体力の増進に寄与している。 また、全国各地からも多くのランナーが参加しており、地域経済の活性化にも寄与している。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	参加料および協賛金だけで大会を運営することが望ましいが、市民が参加しやすい参加料の設定が必要であり、また、景気低迷の影響を受け、多額の協賛金が期待できない現状では、補助が必要である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	招待選手の経費を削減するなど経常経費の見直しを行っており、市の補助金依存度の割合が下がっている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	実行委員会形式で大会を運営しており、今後も一定規模の補助が必要である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていないが、年々協賛金の確保が厳しくなっており、事業内容や収支状況を精査するなかで、大会運営に支障を来さない範囲を見極め、積算基準の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input checked="" type="checkbox"/>	地域経済の低迷により、協賛企業の確保が年々厳しく、協賛金等の大幅な減も想定される状況にあることから、次年度の安定した大会運営のためには、経費の削減を図るなかで、1,000千円程度の繰越金が必要である。
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館ハーフマラソン大会開催補助金
----------------	------------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法、具体的な数値等)

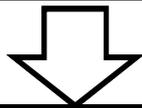
定員、申込数、参加者数により、効果を測定する。

(達成状況)

・2010大会 (H22)	定員2,000	申込数1,985	(市内 910・市外 723・道外352)	参加者数1,789
・2011大会 (H23)	定員2,000	申込数2,011	(市内 989・市外 712・道外310)	参加者数1,801
・2012大会 (H24)	定員4,000	申込数3,667	(市内1,728・市外1,423・道外516)	参加者数3,107

市外・道外から申込みが半数を超えており、本市のスポーツ振興のみならず、地域経済の活性化にも貢献している。

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 協賛金の増額に向けた取り組みを検討するとともに、さらなる経常経費の見直しを進め、補助金の縮減に努める。 (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	

(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
平成27年度		平成27年度